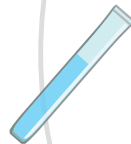




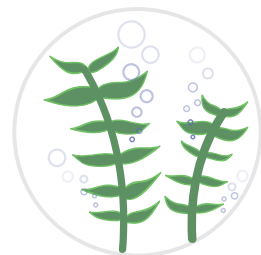
AICHI
SCIENCE
FESTIVAL
2017

あいちサイエンスフェスティバル 2017 実施報告書

夏休み
あいちサイエンス
フェスティバル2017



あいち サイエンス フェスティバル 2017



目次

1. 概要	2
1-1. あいちサイエンスフェスティバルとは	2
1-2. あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークの連携	2
1-3. あいちサイエンスフェスティバル実行委員会	3
2. フェスティバル総括	5
2-1. 夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2017 総括	5
2-2. あいちサイエンスフェスティバル 2017 総括	5
2-3. 年間比較	6
2-4. あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク Web 閲覧数	7
2-5. 報道・広報	8
3. 夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2017 イベント報告	13
4. あいちサイエンスフェスティバル 2017 イベント報告	47
4-1. プレイイベント	47
4-2. 特集 1「楽しい化学、深める化学」	49
4-3. 特集 2「豊かなる生物の世界と生命科学」	52
4-4. ASF サイエンストーク	54
4-5. 子どものためのサイエンスとものづくりイベント	59
4-6. まだまだいっぱい	62
5. 謝辞	82

1. 概要

1-1. あいちサイエンスフェスティバルとは

あいちサイエンスフェスティバルは、愛知県全域および周辺地域で開催する地域科学祭です。この地域にサイエンスやものづくりを気軽に楽しむ文化を育むため、人々の交流と対話の場をつくりだすことを目的に実施しています。名古屋大学が主催し、愛知県および岐阜・三重県の、大学や社会教育施設等による「あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク」の連携協力活動として運営しています。

2011年から毎年、10月を中心とした秋に約5週間のあいちサイエンスフェスティバルを開催してきました。2015年度からは新たに、夏休みにも子ども向けの「夏休みあいちサイエンスフェスティバル」を開催しています。

1-2. あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークの連携

2011～2013年度、独立行政法人科学技術振興機構（JST;現、国立研究開発法人科学技術振興機構）より、科学技術コミュニケーション推進事業「ネットワーク形成地域型」支援を受け、愛知県内の大学・研究所・博物館・科学館等が連携し、「あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク」を形成しました。当初11機関からスタートしましたが、徐々に参加機関を増やしています。2017年5月に名古屋文理大学短期大学部が新規加入し、2018年1月現在、27機関が参加しています。

● あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク参加機関

名古屋大学、愛知県、豊橋技術科学大学、名古屋市立大学、名古屋市科学館、名古屋市東山総合公園（東山動植物園）、蒲郡市生命の海科学館、豊橋市自然史博物館、日本モンキーセンター、トヨタ産業技術記念館、愛知工科大学、名古屋文理大学、自然科学研究機構基礎生物学研究所、宇宙航空研究開発機構名古屋空港飛行研究拠点、三井住友銀行 SMBC パーク栄、愛知こどもの国、名古屋市鶴舞中央図書館、三重県総合博物館、大垣市文化事業団、名古屋工業大学、中部大学、科学技術交流財団、愛知教育大学、名古屋市港防災センター、サイエンスワールド（岐阜県先端科学技術体験センター）、愛知学長懇話会 名古屋文理大学短期大学部 以上、27機関（2018年1月現在）

ネットワークでは、あいちサイエンスフェスティバルを象徴イベントとしながら、年間を通じて、講師派遣やコンテンツ交流等の連携活動をおこなっています。また、ネットワーク機関のサイエンスイベントを集約して情報提供するホームページを毎年運用し、サイエンスイベント情報を掲載したメールマガジンを毎週読者に送信しています。さらに、フェイスブックとツイッターによるイベント情報発信もおこなっています。

- HP <https://aichi-science.jp>
- ツイッター <https://twitter.com/AichiScienceFes>
- フェイスブック <https://www.facebook.com/AichiScienceFestival2014>

1-3. あいちサイエンスフェスティバル実行委員会

● あいちサイエンスフェスティバル実行委員会名簿 (2018年1月現在)

参加機関名	実行委員の所属・役職等	実行委員
名古屋大学 (学術研究・産学官連携推進本部 地域連携・情報発信グループ)	あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク事務局 主任 URA URA 事務補佐員	成玖美 戸次真一郎 宇治原妃美子
愛知県	産業労働部産業科学技術課 主事 愛知県図書館 資料支援課広域グループ	西佑枝子 東まゆ美
豊橋技術科学大学	機械工学系 准教授	安部洋平
名古屋市立大学	看護学研究科 教授	明石恵子
名古屋市科学館	学芸課学芸係 学芸員	山田厚輔
名古屋市東山総合公園	東山動物園 管理課 東山植物園 指導園芸係	中野翔太 早瀬晴菜
蒲郡市生命の海科学館	館長 *2018年1月より 学芸員 (2017年12月まで 専門嘱託員)	山中敦子 松本万尋 (白瀧千夏子)
豊橋市自然史博物館	学芸専門員	長谷川道明
日本モンキーセンター	学術部研究教育室 室長	高野智
トヨタ産業技術記念館	学芸企画グループ グループリーダー	木村雅人
宇宙航空研究開発機構 名古屋 空港飛行研究拠点	名古屋大学総長補佐/ナショナルコンポジットセ ンター特任教授	石川隆司
愛知工科大学	工学部情報メディア学科 准教授	杉森順子
自然科学研究機構基礎生物学研究所	広報室 特任助教	倉田智子
名古屋文理大学	基礎教育センター長/教授	落合洋文
名古屋文理大学短期大学部	地域連携センター 課長	鈴木敦之
三井住友銀行 SMBC パーク栄	イベント担当 ((株)大広)	松井成之
愛知こどもの国	副所長	鈴木貴久
名古屋市鶴舞中央図書館	奉仕課 司書	齋藤森都
三重県総合博物館	経営企画課 学芸員	中村千恵
大垣市文化事業団	事業課科学展示係 専門指導員	小薮範雄
名古屋工業大学	産学官連携センター 准教授	矢野卓真
中部大学	超伝導・持続可能エネルギー研究センター教授 研究推進事務局研究支援課 担当課長	井上徳之 河地利彦
科学技術交流財団	総務部総務課 係長	塚田新也
愛知教育大学	科学・ものづくり教育推進センター 教授	児玉康一
名古屋市港防災センター	センター長	大場玲子
サイエンスワールド	利用促進課	和田沙欧里
愛知学長懇話会	事務局 (名古屋大学総務部総務課 課長補佐)	山田朋子

- 2017年度 実行委員会開催日

第1回 2017年6月9日(金) 15:30~17:00

於：愛知県産業労働センター ウィンクあいち

あいち国際ビジネス支援センター セミナールーム1

第2回 2018年2月28日(水) 15:30~17:00(予定)

於：三井住友銀行 SMBCパーク 栄

2. フェスティバル総括

2-1. 夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2017 総括

「夏休みあいちサイエンスフェスティバル」は、サイエンスとものづくりを楽しむ子どもの裾野を広げるとともに、理系の学習や研究を志す子どもや若者の関心に応え、次代を担う人材育成の一助とすることを目的としています。今年は、夏休み期間まるごとを会期として開催しました。

夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2017 は、以下のとおり開催されました。

- 会期：2017年7月21日（金）～8月31日（木）、およびプレ企画開催日
- 主催：名古屋大学
- 共催：愛知県
- 協力：あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク
- 後援：中京テレビ放送、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会、蒲郡市教育委員会、豊橋市教育委員会、国立研究開発法人科学技術振興機構、全国科学博物館協議会、

夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2017 に参加いただいた参加者とイベント数は以下のとおりです。

- 参加者数：**349,773人**（昨年度実績 249,060人）
うち、単発（開催期間3日間以内）イベント：50,419人（昨年度実績 10,810人）
長期（開催期間4日間以上）イベント：299,354人（昨年度実績 238,250人）
- イベント数：**121**（昨年度実績 69）

2-2. あいちサイエンスフェスティバル 2017 総括

秋には、子どもからおとなまで、広く対象にした、恒例のあいちサイエンスフェスティバル 2017 を開催しました。この地域にサイエンスやものづくりを気軽に楽しむ文化を育むため、人々の交流と対話の場をつくりだすことを目的にしています。

あいちサイエンスフェスティバル 2017 は、以下のとおり開催されました。

- 会期：2017年9月30日（土）～11月19日（日）、およびプレ／ポスト企画開催日
- 主催：名古屋大学
- 共催：愛知県、蒲郡市教育委員会
- 協力：あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク
- 後援：中京テレビ放送、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会、豊橋市教育委員会、国立研究開発法人科学技術振興機構、全国科学博物館協議会

あいちサイエンスフェスティバル 2017 に参加いただいた参加者とイベント数は、以下のとおりです。

- 参加者数： **251,574 人** * 集計不能イベントを除く (昨年度実績 85,097 人)
 - うち、単発 (開催期間 3 日間以内) イベント： 19,798 人 (昨年度実績 17,848 人)
 - 長期 (開催期間 4 日間以上) イベント： 231,776 人 (昨年度実績 67,249 人)
- イベント数： **107** (昨年度実績 94)

2-3. 年間比較

夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2017、および、あいちサイエンスフェスティバル 2017 の参加者数とイベント数の合計は、以下のとおりです。

- 参加者数： **601,347 人** (集計不能イベントを除く)
- イベント数： **228**

あいちサイエンスフェスティバル 2011 からの参加者数とイベント数を年間比較すると以下の通りです。

* 2015 年以降は「夏休みあいちサイエンスフェスティバル」と「あいちサイエンスフェスティバル」の合計数。

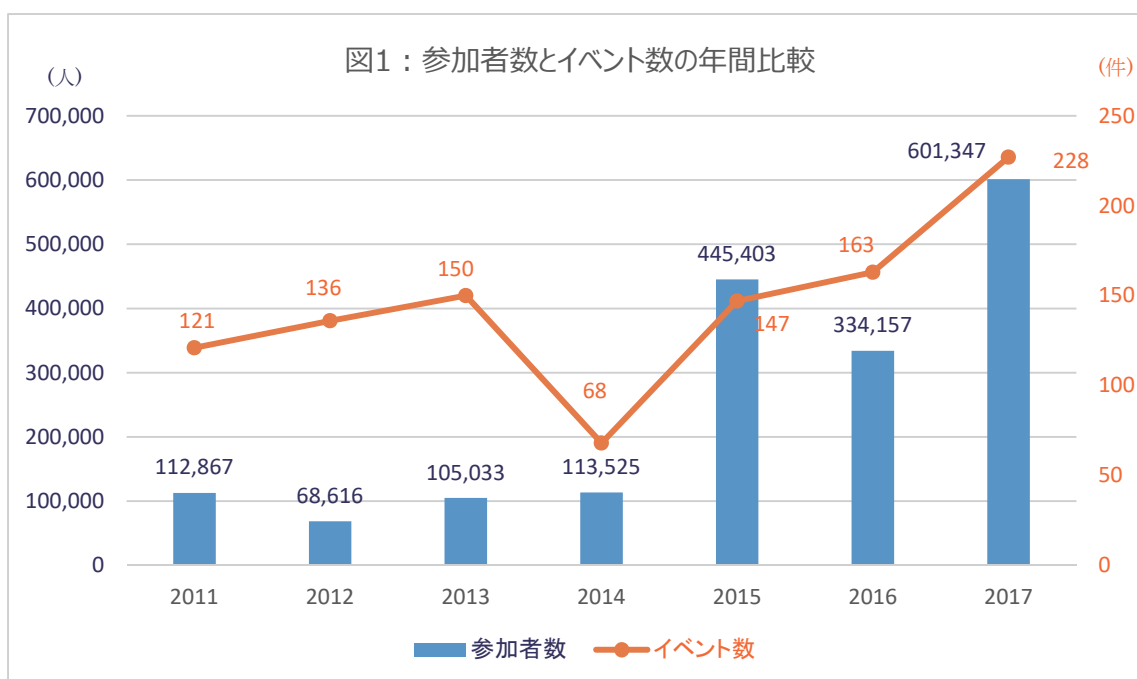


表 1：参加者数とイベント数の年間比較

	2011	2012	2013	2014	2015		2016		2017	
					夏	秋	夏	秋	夏	秋
参加者数	112,867	68,616	105,033	113,525	183,525	261,878	249,060	85,097	349,773	251,574
					445,403		334,157		601,347	
イベント数	121	136	150	68	57	90	69	94	121	107
					147		163		228	

2-4. あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク Web 閲覧数

夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2017 では、新しい試みとして、ターゲットとしている小中学生の親御さんがネットからイベント情報を得てくれることを期待して、例年作成していたイベントガイドに代えて、Web の QR コードを掲載した A6 サイズのフライヤーを作成しました。さらに、名古屋市内の小中学校にはフライヤーを児童・生徒人数分を配布して、認知度向上を図りました。

これが功を奏してか、今年度の 7 月・8 月のあいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク Web ビュー数は、昨年度実績の約 2 倍を達成しました。

一方で、秋のフェスティバル時期のページビュー数は、昨年度とあまり差はありませんでした。

以下に 2016 年度と 2017 年度（12 月まで）の Web 閲覧数の経過を示します。

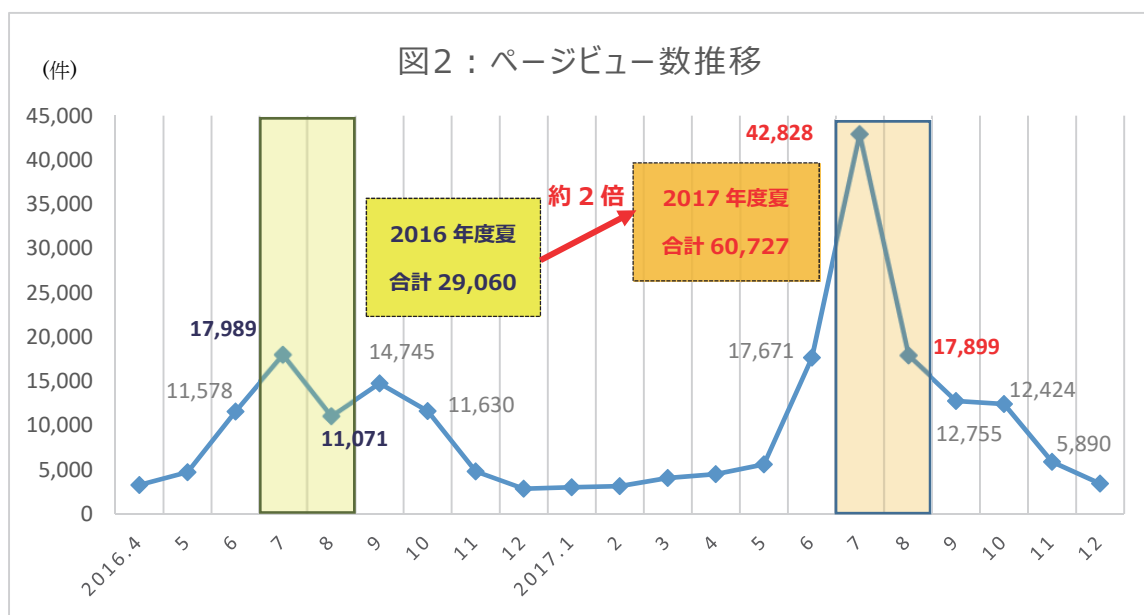


表 2：ページビュー数推移（単位：件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2016年度	3,277	4,718	11,578	17,989	11,071	14,745	11,630	4,806	2,852	3,023	3,133	4,064
2017年度	4,496	5,597	17,671	42,828	17,899	12,755	12,424	5,890	3,438			

2-5. 報道・広報

「夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2017」および「あいちサイエンスフェスティバル 2017」開催について、以下のとおり広報をおこない、報道されました。（ネットワーク機関の個別イベントの広報・報道は、含んでいません。）

日	媒体	内容
6月15日（木）	三井住友銀行SMBC パーク栄 パンフレット	夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2017 開催告知および一部イベント情報掲載
6月22日（木）	SNS	夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2017 開催告知
6月29日（木）	記者発表	「名古屋大学 教育記者会との定例懇談会」にて、夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2017 告知
6月30日（金） ～	サカエーラウンド夏フ ェスタ パンフ・HP 等	夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2017 開催告知および一部イベント情報掲載
7月3日（月）	愛知県 HP	「あいち発明の夏 2017」告知ページにて、協賛行事として掲載 （調整：愛知県産業労働部）
7月24日（月）	ReseMom（リセマ ム）	【夏休み 2017】科学教室やロボット展など 70 以上、あいちサイエンスフェスティバル」紹介記事掲載 https://resemom.jp/article/2017/07/24/39399.html
7月24日（月）	Ameba ニュース	【夏休み 2017】科学教室やロボット展など 70 以上、あいちサイエンスフェスティバル」紹介記事掲載 *提供：リセマム https://news.ameba.jp/entry/20170724-1090
7月24日（月）	livedoor NEWS	【夏休み 2017】科学教室やロボット展など 70 以上、あいちサイエンスフェスティバル」紹介記事掲載 *提供：リセマム http://news.livedoor.com/article/detail/13381145/
8月1日（火）～ 31日（木）	愛知県内セブン・イ レブン各店	夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2017 ポスター掲示（調整：愛知県産業労働部）
8月29日（火）	日刊工業新聞	9月19日イベント告知記事
9月15日（金）	三井住友銀行SMBC パーク栄 パンフレット	あいちサイエンスフェスティバル 2017 開催告知および一部イベント情報掲載
9月27日（水）	記者発表	「名古屋大学 教育記者会との定例懇談会」にて、あいちサイエンスフェスティバル 2017 告知
10月1日（日） ～	サカエーラウンドハロ ウィン パンフ・HP 等	あいちサイエンスフェスティバル 2017 開催告知および、実験ショー、ASF サイエンストーク情報掲載
10月1日（日） ～31日（火）	愛知県内イオン 各店	あいちサイエンスフェスティバル 2017 ポスター掲示（調整：愛知県産業労働部）

● 広報物

「夏休みあいちサイエンスフェスティバル2017」のフライヤーは、あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク事務局にて作製しました。

「あいちサイエンスフェスティバル 2017」のポスターとイベントガイドの表面は、松場宏忠氏（MTB DESIGN）に作製いただきました。（イベントガイド裏面は、事務局で作製しました。）

夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2017 ポスター

小・中・高生のための

夏休み

AICHI SCIENCE FESTIVAL 2017

あいちサイエンスフェスティバル2017

7/21金 ~ 8/31木

あいち発明の夏2017
—8月1日は愛知の発明の日—

Aichi

名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY

名古屋大学博物館第35回企画展
「ムシの世界」

期 間：7月25日（火）～10月21日（土）
会 場：名古屋大学博物館
入館料：無料
電 話：052-789-5767
※8月の休館日：日曜日、月曜日、8/12～8/15

蒲郡市生命の海科学館 2017 特別展
『せいめいのれきし』
—46 周年、あなたにつながるストーリー—

期 間：7月15日（土）～11月5日（日）
会 場：蒲郡市生命の海科学館
観覧料：無料
電 話：0533-66-1717
※8月の休館日：無し

ブラネタリウム一般投影 8月
「アメリカ横断日食」

期 間：8月1日（火）～9月3日（日）
会 場：名古屋市科学館
観覧料：大人 800円、大学・高校生 500円（要学生証）、
中学生以下無料 *展示室とブラネタリウムの観覧料
電 話：052-201-4486
※8月の休館日：8/7、21、28

愛知県周辺でサイエンス・ものづくりイベントいっぱい！
詳しくは WEB で!! <https://aichi-science.jp/>

あいちさいえんす

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク事務局
TEL：052-747-6527 E-mail：asf@aip.nagoya-u.ac.jp
主催：国立大学法人名古屋大学 共催：愛知県 協力：あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク
後援：中京テレビ放送、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会、蒲郡市教育委員会、豊橋市教育委員会、国立研究開発法人科学技術振興機構、全国科学博物館協議会

ET
twitter facebook
@aichiscience



サイエンスとものづくりの祭典

あいち サイエンス フェスティバル 2017

9月30日(土)
~11月19日(日)

子どももおとなも楽しめる、100以上の企画が大集合!!

講演会 10月9日(月・祝)
14:00~16:30

**「分子をつなぐキュービット!?
触媒が広げた化学の世界」**

山本 尚
(中部大学分子触媒研究センター長/名古屋大学名誉教授、他)
名古屋大学がノーベル賞受賞者も輩出した
分子触媒研究の世界。テレビでもおなじ
みの山本尚先生ほか、名古屋大学の研
究者がわかりやすく解説します。

会場：名古屋大学
坂田・平田ホール



山本 尚

実験ショー 10月1日(日)
14:00~15:00

「マローブルーティの不思議」

白瀬千夏子 (蒲郡市生命の海科学館)
dela (池永百合、桑名ありさ、佐山カオル)

名古屋のアイドルと一緒に実験してみませんか?
対象：小学生 (観覧はどなたでも)

会場：松坂屋名古屋店
ハンダ広場



dela

実験ショー 10月29日(日)
14:00~15:00

「シロアリのフェロモン実験」

長谷川道明 (豊橋市自然史博物館)
白瀬千夏子 (蒲郡市生命の海科学館)
dela (池永百合、桑名ありさ、佐山カオル)

名古屋のアイドルと一緒に実験してみませんか?
対象：小学生 (観覧はどなたでも)

会場：松坂屋名古屋店
ハンダ広場

サイエンストーク 11月6日(月)
18:15~19:45

**「まちを育てる「アート」と「サイエンス」の力
~「アルスエレクトロニカ」。
ヨーロッパの小さな町の大きな挑戦」**

鷲尾和彦
(株式会社博報堂 クリエイティブ・プロデューサー)

芸術文化と科学技術が融合した、アルスエレクトロ
ニカ・フェスティバル。地域発展を実現した先
進的なアートの全容を、気鋭のアーティ
ストが紹介します。

会場：7th Cafe
(ナディアパーク デザインセンタービル7階)



鷲尾和彦

詳しくは WEB で!! あいちさいえんす 🔍 検索 <https://aichi-science.jp>



主催：名古屋大学・共催：愛知県、富田県教育委員会・協力：あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク・会場：中府テレビ放送、愛知県教育委員会、名古屋大学、名古屋教育委員会、豊橋市教育委員会、岡田印刷株式会社 科学技術振興機構、全国科学博物館協議会
お問い合わせ：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク事務局 電話：052-747-6527 asf@aip.nagoya-u.ac.jp



デザイン：松場宏忠 (MTB DESIGN)

子どものためのサイエンスとものづくりイベント大集合!

- 10月7日(土) 青少年のための科学の祭典2017 8日(日) 名古屋大会
10月7日(土) 秋の親子どうぶつ講座
10月11日(土) 秋の親子どうぶつ講座
10月21日(土) フラネタライブ
10月21日(土) Jr.サイエンス講座

- お子さんから保護者まで楽しめます!
11月11日(土) 科学・ものづくりフェスタ@愛教大
11月11日(土) マイコッププログラミング教室
11月11日(土) 特別展「恐竜の卵〜電磁生〜」
11月18日(土) 秋の工房アカカルト

あいちサイエンスフェスティバルとは、

あいちサイエンスフェスティバルは、愛知県全域および周辺地域で開催する地域科学祭です。この地域にサイエンスのつくりを根柢に築き文化を育むため、人々の交流と対話の場をつくらんとすることを目的に、2011年から毎年秋に開催してきました。

サイエンス・コミュニケーションネットワーク
「あいちサイエンスフェスティバル」と「サイエンス・コミュニケーション」



特集① 楽しい化学、深める化学

- 10月9日(日)「分子をつなぐキュービット?」
10月10日(月)「触媒のちから〜光子から合成実装」
10月11日(火)「マロールーティエの不思議」
10月14日(金)「第14回 高校化学」



サイエンスとものづくりの祭典
あいちサイエンスフェスティバル2017
9月30日(土)〜11月19日(日)
https://aichi-science.jp

特集② 豊かな生物の世界と生命科学

- 9月30日(土)「昆虫に学ぶ生きる知恵」
10月10日(月)「工藤光子「植物細胞壁のミクロの世界」」
10月11日(火)「せいぜいれんげし」
10月22日(日)「シロアリのフェロモン実験」

Science Talk 市民と専門家との対話イベント

- 10/9(金) 名古屋市動物中央図書館①
10/11(水) 文化系飲食店「ボクモ」②
10/16(月) 三井住友銀行 SMBC ハークス③
10/18(水) 文化系飲食店「ボクモ」②
10/19(木) 名古屋動物中央図書館①
10/20(金) 三井住友銀行 SMBC ハークス③
10/23(月) 文化系飲食店「ボクモ」②

時間：18:30〜20:00 (入場：18:00〜) 一部変更あり

- 10/26(木) 名古屋動物中央図書館①
10/30(月) Cafe&Bar Perms (ハームス)④
11/1(水) 文化系飲食店「ボクモ」②
11/2(木) Cafe&Bar Perms (ハームス)④
11/6(月) 7th cafe⑤
11/10(金) 三井住友銀行 SMBC ハークス③
11/15(水) 文化系飲食店「ボクモ」②

11/17(金) Cafe&Bar Perms (ハームス)④

会場マップ
1) 名古屋動物中央図書館
2) 文化系飲食店「ボクモ」
3) 三井住友銀行 SMBC ハークス
4) Cafe&Bar Perms (ハームス)
5) 7th Cafe

3. 夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2017 イベント報告

夏休みには、多くの家族連れが、科学館や博物館を訪れます。大学等でも、たくさん子ども向けイベントを開催し、子どもたちの興味や関心に応えます。今年は夏休み期間まるごとをフェスティバル会期とし、120あまりの多彩なイベントが集まりました。

ミニ企画展「イデンシって、なあに？～進化の秘密から光るワンピースまで」

日時	6/3(土)～11/5(日) 9:00～17:00
対象	子ども～おとな
会場	蒲郡市生命の海科学館 3階展示室
主催	蒲郡市生命の海科学館、農林水産省

DNA やタンパク質の模型の展示が、目には見えない生物の仕組みがあることを伝えてくれました。遺伝子組換え技術を用いて作成された光るワンピースに来場者は興味津々でした。



夏休み科学研究相談

日時	7/1(土)～7/23(日)の土日祝 ①13:00～、②13:30～、③14:00～、④14:30～、⑤15:00～、⑥15:30～
対象	小中学生
会場	サイエンスワールド
主催	サイエンスワールド

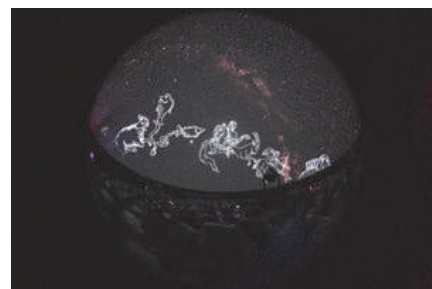
毎年人気の企画です。今年も研究テーマの決め方から資料のまとめ方まで、子供たちは親御さんと一緒に真剣に相談されていました。



プラネタリウム一般投影「宇宙のひろがり」

日時	7/1(土)～7/30(日)
対象	小学校高学年～おとな
会場	名古屋市科学館 プラネタリウム
主催	名古屋市科学館

季節の星の話に加えて、宇宙ステーションが回る上空 400km の身近な宇宙から恒星が点在する銀河系の世界、無数の銀河が群れをなす巨大な宇宙構造まで、100 億光年を超える宇宙空間のひろがりを感じるプログラムでした。



チャレンジワークショップ「月と地球」

日時 7/8(土)～7/17(祝)の土日祝 ①10:00～、②11:15～、③13:30～、④14:45～

対象 小学生

会場・主催 サイエンスワールド

月の特徴について学びながら舟形図になっている月と地球のシールを発泡スチロール球に貼り付け、バランスを取りながらモビール作りに挑戦しました。



企画展「みんなののりもの大集合～この夏、三重をのりつくそう～」

日時 7/8(土)～9/18(祝) 9:00～17:00(土日祝は9:00～19:00)

対象 子ども～おとな

会場・主催 MieMu (三重県総合博物館)

三重県内の鉄道を中心に、船やロープウエーなど特徴あるのりものを取り上げ、三重の公共交通の歴史や役割について紹介しました。体験コーナーの設置や、ミニSLなどの関連イベントの実施により、大人から子どもまで楽しみながら学んでいただきました。



夏の夜空を見上げよう～天体望遠鏡使い方講座

日時 7/9(日) ①20:00～20:30、②21:00～21:30

対象 子ども～おとな

会場 松坂屋名古屋店 本館屋上広場

主催 ヨドバシカメラ、Vixen、松坂屋名古屋店、名古屋大学情報学研究科遠藤研究室

松坂屋名古屋店と名古屋大学の包括連携の一環として開催しました。講師にVixenの熊谷氏と名古屋大学の遠藤准教授を招きました。生憎の曇り空で、月は見られませんでした。ファミリー層を中心に大変好評なイベントとなりました。



特別企画展 武器甲虫－クワガタ、カブトの進化を探る－

日時 7/14(金)～9/3(日)

対象 子ども～おとな

会場 豊橋市自然史博物館 特別企画展示室

主催 豊橋市自然史博物館

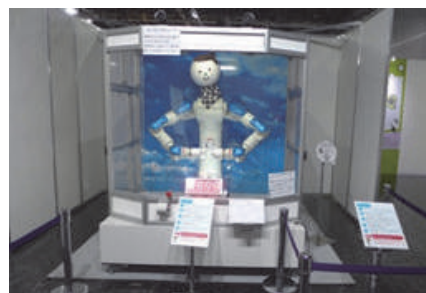
500種6,000点以上の世界のクワガタムシやカブトムシの標本、生体展示、ゲームなどで、カブトムシの巨大な角やクワガタムシの大アゴはどのようにして誕生し、進化したのかを紹介しました。



特別展「ロボットってなんだろう？」

日時	7/15(土)～9/3(日) 9:30～17:00
対象	子ども～おとな
会場	名古屋市科学館 理工館 イベントホール
主催	名古屋市科学館、読売新聞社、名古屋テレビ放送

読売新聞社・メ〜テレと共催で、ロボットの歴史から最新の AI まで、幅広い分野のロボットを紹介しました。会話できるロボットや、実際に操作できるロボットも展示しました。



特別展『せいめいのれきし』46 億年、あなたにつながるストーリー

日時	7/15(土)～11/5(日) 9:00～17:00
対象	子ども～おとな
会場	蒲郡市生命の海科学館 蒲郡の科学ひろば
主催	蒲郡市生命の海科学館
協力	株式会社岩波書店、国立科学博物館、岐阜聖徳学園大学

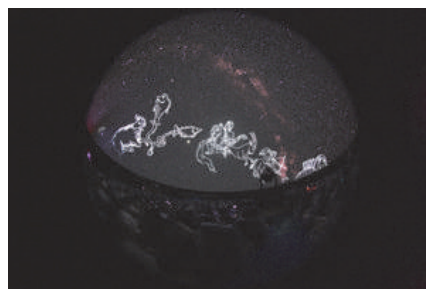
絵本をモチーフに、地球誕生からの生物の移り変わりの歴史を、貴重な化石等を用いて展示しました。中でも恐竜の骨格標本や猿人の頭骨の展示は、来場者に大好評でした。



プラネタリウム「ファミリーアワー」

日時	7/15(土)～12/10(日)
対象	小学校低学年以下とおとな
会場	名古屋市科学館 プラネタリウム
主催	名古屋市科学館

ファミリーアワーは幼児から小学校低学年のお子様連れのご家族にも安心して楽しんでいただける、遊び心あふれるプログラムです。この時期は「はるかなる星の世界へ」というテーマで宇宙旅行を楽しんでいただきました。



昼間の星をみる会

日時	7/16(日) 10:30～14:30
対象	子ども～おとな
会場	名古屋市科学館 理工館 天文台
主催	名古屋市科学館

望遠鏡を使うと昼間に星が見られます。理工館屋上天文台の 80cm 望遠鏡を使って青空の中の星をご覧ください。入館者対象です。



えほん meets 博物館『せいめいのれきし(改訂版)』

日時	7/17(祝)①11:00~12:00、②14:00~15:30
対象	①未就学児と保護者・教育関係者、②小学生以上の子どもと保護者
会場	蒲郡市生命の海科学館 3階展示室、他
主催	蒲郡市生命の海科学館
共催	国立科学博物館
協力	株式会社岩波書店

絵本の一部を用いて特別に作成された、本イベント専用のミッションシートを持って、館長と来場者が一緒に科学館を探検しました。絵本と科学館の展示がつながり、より興味関心が深まりました。



実験！素粒子を見る – 素粒子で調べるピラミッド–

日時	7/21(金) 13:00~16:00
対象	中学生
講師	名古屋大学理学研究科 F 研 基本粒子研究室
会場	三井住友銀行 SMBC パーク栄 セミナー室
主催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

中学生を対象に素粒子を身近に感じられる実験教室を行いました。名大の林先生と実際に素粒子を見ることが出来る霧箱を作り観察しました。さらに森島先生による新たな活用法ピラミッドの透視についても紹介しました。



展示コーナー「素粒子でピラミッドを調べる – 宇宙線ミュオンラジオグラフィって何? –」

日時	7/21(金) 12:00~17:00
対象	子ども~おとな
会場	三井住友銀行 SMBC パーク栄
主催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

素粒子を使った新しい透視技術に関する展示を行いました。既存の X 線などでは調べるのが難しい火山のマグマやピラミッドの中が素粒子でなぜ視られるのかや観測するフィルムを設置するアルミ板などが展示されました。



電子工作教室（ジュニアコース）「フルカラーLED で色をまなぼう」

日時	7/21(金) 10:00～12:00
対象	小学 5・6 年生
会場	名古屋市科学館 生命館 第2 実験室
主催	名古屋市科学館

光の三原色である「赤・青・緑」が一体となった LED のハンダ付け工作を楽しみながら、光の色の仕組みを学びました。



未来の博士を育てる科学教室「石灰を使ってバズーカ砲やロケットを飛ばそう！」

日時	7/21(金) 10:00～12:00
対象	小・中学生
会場	大垣市スイピアセンター 創作実習室 2
主催	大垣市文化事業団
協力	矢橋工業株式会社

金生山の石灰について分かり易く説明し、また、実験や観察をしながら楽しく活動できました。二酸化炭素の吸着剤「ヤバシライム」を活用しながら、発熱や加圧作用を体感しました。圧縮した空気砲（バズーカ砲）は迫力満点でした。



電子工作教室（親子コース）「オルゴールごまをつくろう」

日時	7/22(土)・7/23(日) 10:00～12:00
対象	小学 3・4 年生と保護者
会場	名古屋市科学館 生命館 第2 実験室
主催	名古屋市科学館

コマを回すと LED が光の輪となり、音楽が流れるオルゴールごまを製作しました。ハンダ付けが難しい部分を、親子が協力して作業する場面が印象的でした。



夏休み♪みんなで楽しくまなぼうさい～自由研究ネタウォッチ～

日時	7/22(土)・7/23(日) 9:30～16:30
対象	子ども～おとな
会場・主催	名古屋市港防災センター

地震の揺れ方と液状化について学ぶ「スライム DE 地震」、VR 技術での災害体験、避難時の自分の行動タイプが分かる「ぼうさいスタンプラリー」、こども防災相談コーナー、171 体験ができる「防災タウンページイベント」などを様々な機関が協力のもと 2 日間開催しました。



自由研究！水はどこ？ ～水からわかる天気のお話～

日時	7/22(土)①10:00～11:30、②14:00～15:30
----	----------------------------------

対象	小学生
----	-----

講師	本田隆行(科学コミュニケーター/元日本科学未来館)
----	---------------------------

会場・主催	名古屋市港防災センター
-------	-------------

水の科学実験や貼り絵をして、雲や雨などのでき方など身近なお天気について学ぶプログラムでした。



夏休みイベント「おどろき！発見！生き物探検隊」

日時	7/22(土)～8/31(木) 9:00～17:00
----	----------------------------

対象	子ども～おとな
----	---------

会場	サイエンスワールド
----	-----------

主催	サイエンスワールド
----	-----------

「生き物」を題材とし、科学館らしい視点からバイオミメティクスの技術や生き物の生態にまつわる実験・工作ブースを企画しました。



記念講演会 クワガタ・カブトの系統進化

日時	7/23(日) 14:00～15:30
----	---------------------

対象	小学3年生～おとな
----	-----------

講師	荒谷邦雄(九州大学教授)
----	--------------

会場	豊橋市自然史博物館
----	-----------

主催	豊橋市自然史博物館
----	-----------

クワガタムシ、カブトムシの系統進化と生物多様性について、研究の最前線を学びました。



第24回 生きている地球の記録

日時	7/23(日) 10:00～16:50
----	---------------------

対象	子ども～おとな
----	---------

会場	名古屋市科学館 生命館 サイエンスホール
----	----------------------

主催	(公財)三菱 UFJ 環境財団、名古屋市科学館、中日新聞社、グリーンイメージ国際環境映像祭実行委員会
----	--

(公財)三菱 UFJ 環境財団等と共催して、2017年グリーンイメージ国際環境映像祭入賞作品の「海へ消えたプラスチックの謎」「被爆の森 原発事故5年目の記録」など、計6本を上映しました。



第5回 さんぎ大学 講和会

日時	7/23(日) 14:30～
対象	おとな
講師	橋本英樹(新和実業(株)代表取締役)、木村雅人(トヨタ産業技術記念館 学芸員)
会場	トヨタ産業技術記念館 ホール A
主催	トヨタ産業技術記念館、中部産業遺産研究会

新和実業(株)の橋本英樹氏による「自動車館の金属熱処理設備の展示とその技術移転史」と、当館の木村雅人学芸員による「アナログメカの魅力～先人たちの知恵と工夫のモノづくり」の2件の講話会を実施し、モノづくりへの関心を高めることができました。



公開講座「数学の散歩道」

日時	7/25(火)～7/26(水) 13:00～15:30
対象	高校生
講師	野崎寛講師・須田庄講師 (愛知教育大学)
会場	愛知教育大学
主催	愛知教育大学

高校生を対象に、整数の合同式にまつわるパズルや、いくつかの点を線で結ぶ数学(グラフ理論)で、その構造と本質を楽しみながら勉強を行いました。



日本モンキーセンター ワイルドサマーキャンプ

日時	7/25(火)～7/26(水)、8/22(火)～8/23(水)
対象	小学4年～中学3年生
会場	日本モンキーセンター
主催	日本モンキーセンター

研究者のフィールドワークを模した1泊2日のキャンプを開催しました。2回とも定員の24名が集まりました。子どもたちは自分でテントを張り、霊長類の行動観察やカメラトラップによる野生動物の観察などに取り組みました。



企画展「ムシの世界」

日時	7/25(火)～10/21(土) 10:00～16:00
対象	子ども～おとな
会場	名古屋大学博物館
主催	名古屋大学博物館
協力	株式会社プラルト

大人も子供も楽しめることに重点をおいて企画しましたが、博物館には珍しく親子連れの来場者が多く、切り紙や博物画、標本などを十分楽しんでいました。



外来魚調査隊（ワークショップ）

日時	7/26(水) 9:30～12:30
対象	子ども～おとな
講師	坂本博一(豊橋市自然史博物館事務長補佐)
会場	豊橋市 向山大池
主催	豊橋市自然史博物館

豊橋市内のため池で外来魚調査を行い、見分け方や問題点について学びました。



集まれ中・高校生！「サイエンス実践塾」第1回「せんいのひみつ」～繊維と地球環境のかかわり～

日時	7/26(水) 13:30～17:00
対象	中学生・高校生
会場	あいち産業科学技術総合センター三河繊維街支術センター
主催	愛知県
協力	東レ株式会社岡崎工場

東レ（株）岡崎工場のスタッフによる出前授業を実施し、「せんいのひみつ」について実験を通して学びました。また、センターに設置されている機器の見学も行いました。参加者からは「繊維が水を弾いたり、伸びたりして、いろいろな繊維の性質がわかりおもしろかった」との声がありました。



未来の博士を育てる科学教室「おもしろ印刷実験パッチン LED」

日時	7/27(木) 10:00～11:30
対象	小・中学生
会場	大垣市スイトピアセンター
主催	大垣市文化事業団
協力	サンメッセ株式会社

電導性のある特殊印刷された型紙を使用して、いろいろな道筋に電気を流し、直流回路をつくりながら、LED 電灯を点灯させてみました。電気がつくように条件を変えていくことができ、試行錯誤しながら多くを学びました。



世界青少年発明工夫展 2017

日時	7/27(木)～7/29(土) 10:00～16:00
対象	子ども～おとな
会場	ポートメッセなごや(名古屋市国際展示場)
主催	公益社団法人発明協会
共催	愛知県、名古屋市、一般社団法人愛知県発明協会

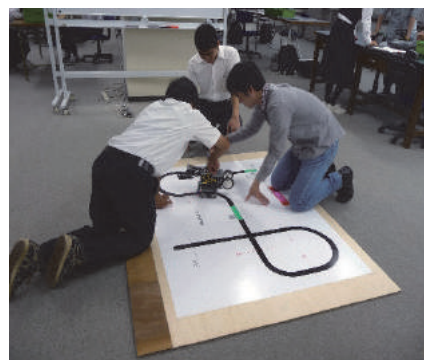
世界各国の青少年が創作した発明作品の展示・コンテスト等を通じて、創造性と国際感覚を養うことを目的とした「世界青少年発明工夫展 2017」を開催しました。



平成 29 年度あいち STEM 能力育成事業「知の探究講座」ロボットの動作原理を学ぶ

日時	7/28(金)～7/31(月)、9/23(土)～11/11(土)
対象	高校生
講師	豊橋技術科学大学 人間・ロボット共生リサーチセンター所属教員
会場	豊橋技術科学大学
主催	愛知県教育委員会

「ロボットの動作原理を学ぶ」と題して、人間・ロボット共生リサーチセンターの教員により、本学の最先端ロボットについて実際に触れながら学ぶ講座を実施しました。



「愛知の発明の日」記念講演会

日時	7/28 (金) 12:45~14:30
対象	学生~おとな
講師	豊田章一郎(トヨタ自動車株式会社名誉会長)、渡部俊也(東京大学政策ビジョン研究センター教授/一般社団法人知財学会会長)
会場	ポートメッセなごや 交流センター 会議ホール
主催	愛知県、中部経済産業局、一般社団法人愛知県発明協会
共催	公益社団法人発明協会



愛知県は、この地域の産業の礎を築いた豊田佐吉翁が、明治31年に日本最初の動力織機の特許を取得した8月1日を「愛知の発明の日」と定め、知的財産の重要性を考えていただく機会としております。本年は豊田佐吉翁生誕150周年を記念し、豊田章一郎氏らを講師にお招きして盛大に開催しました。

名古屋文理大学公開講座 iPadを使ったお菓子英語教室

日時	7/29(土)・8/3(木) 10:00~11:30
対象	小学1年~3年生
講師	田中明子(名古屋文理大学教授)
会場	名古屋文理大学 文化フォーラム
主催	名古屋文理大学



本学フードビジネス学科田中明子教授が「iPadを使ったお菓子英語教室」と題し、小学生低学年を対象に講座を開講しました。情報メディア学科学生が制作したアプリを活用しながら、お菓子作りをする際に使う英語を学習しました。講座の2回目では学習した英語を活かしてアイシングクッキーを作成し、参加者は楽しそうに取り組んでいました。またイングリッシュサークルの学生がサポーターとして参加者に発音のアドバイスを行いました。

公開講座「夏休みの工作 - ガラス工芸で変装ミラーを作ろう -」

日時	7/29(土) 9:00~12:00
対象	小・中学生
講師	佐々木雅浩(愛知教育大学准教授)
会場	愛知教育大学
主催	愛知教育大学

小中学生を対象に、サンドブラスト技法を用いて、鏡に自分を映した時に変装できるスタンドミラーを楽しみながら作りました。



生きものがつくりだす石（解説会）

日時	7/29(土) 14:30~15:00
対象	子ども~おとな
講師	加藤千茶子(豊橋市自然史博物館主任学芸員)
会場	豊橋市自然史博物館
主催	豊橋市自然史博物館

真珠や胆石など、生きものが作り出す石について紹介しました。



企画展特別講演会「ホタルのおしりはなぜ光る・発光の謎」

日時	7/29(土) 13:30~15:00
対象	小学校高学年~おとな
講師	大場裕一(名古屋大学客員准教授・中部大学准教授)
会場	名古屋大学博物館
主催	名古屋大学博物館

大場裕一(名古屋大学客員准教授・中部大学准教授)による講演でした。映像を沢山使い、子供も大人もホタルなどの発光生物の虜になりました。



2017 生命の海科学館 夏祭り

日時	7/29(土) 10:00~16:00
対象	子ども~おとな
会場	蒲郡市生命の海科学館
主催	蒲郡市生命の海科学館

万華鏡作りやサイエンスショーなど、イベントが多数開催され、大変賑やかな一日となりました。



サイエンスフェア 2017

日時	7/29(土)~7/30(日) 9:30~16:00
対象	子ども~おとな
会場	サイエンスワールド
主催	サイエンスワールド

夏の一大イベントです。館内中に実験・工作ブースが展開され、多くの来館者が思い思いのブースで楽しまれていました。



昼間の星をみる会

日時	7/30(日) 10:30~14:30
対象	子ども~おとな
会場	名古屋市科学館 理工館 天文台
主催	名古屋市科学館

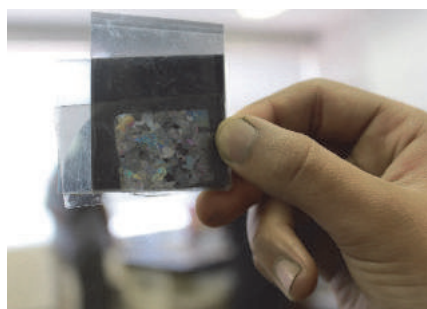
望遠鏡を使うと昼間に星が見られます。理工館屋上天文台の80cm 望遠鏡を使って青空の中の星をご覧いただきました。入館者対象です。



小さな鉱物を見てみよう（ワークショップ）

日時	7/30(日) 10:00~15:00
対象	小学4年~高校3年生
講師	加藤千茶子(豊橋市自然史博物館主任学芸員)
会場	豊橋市自然史博物館
主催	豊橋市自然史博物館

化粧品や宝石など、身近な鉱物や石の薄片づくりを通して岩石をミクロの目で観察しました。



未来の博士を育てる科学教室「風力発電で車を走らせよう！」

日時	7/31(月) 10:00~11:30
対象	小・中学生
会場	大垣市サイトピアセンター 創作実習室 2
主催	大垣市文化事業団
協力	太平洋工業株式会社

発電のしくみや方法について学びながら、環境に配慮した風力を利用した発電について実験しました。ペットボトルで羽をつくらせて風車を回し、それにより蓄電池に電気をため、ミニカーを走らせたりしました。レース形式で大変盛り上がりました。



チリモン探し体験(ワークショップ)

日時	8/1(火) 14:00~15:00
対象	小学生以上
講師	坂本博一(豊橋市自然史博物館事務長補佐)
会場	豊橋市自然史博物館
主催	豊橋市自然史博物館

シラスに混じって漁獲された小さな生きものを探し、海の生きものを学びました。

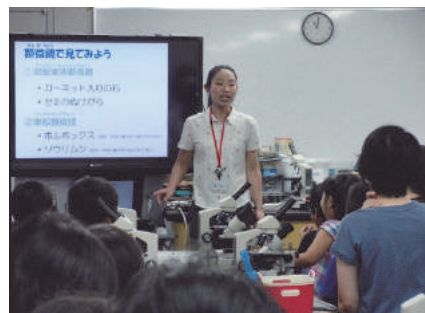


2017 夏休み顕微鏡講座

日時	8/1(火)、8/8(火)、8/15(火) 11:00~12:00
対象	小学生以上
講師	白瀧千夏子(蒲郡市生命の海科学館)
会場	蒲郡市生命の海科学館
主催	蒲郡市生命の海科学館

地元の鉱物やセミの抜け殻、自分の細胞、自分で持参した試料など、様々なものを顕微鏡で観察しました。ワークシートにスケッチもしました。皆とても熱心に取り組んでいました。

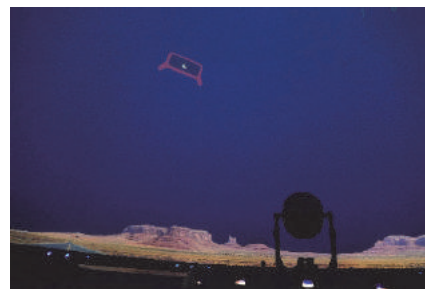
※8/8は台風の影響で中止



プラネタリウム一般投影「アメリカ横断日食」

日時	8/1(火)~9/3(日)
対象	小学校高学年~おとな
会場	名古屋市科学館 プラネタリウム
主催	名古屋市科学館

8月22日(日本時間)に北アメリカ大陸を横断する細長い地域で皆既日食が見られました。当日まではプラネタリウムでの皆既日食のシミュレーション、翌日からは現地から届いた映像を使って解説をしました。



公開講座「高分子の化学」

日時	8/2(水) 13:00~17:00
対象	高校生
講師	長昌史(愛知教育大学准教授)
会場・主催	愛知教育大学

高校生を対象に、高分子化合物の合成実験を体験しながら、高分子が水や二酸化炭素などの小さな分子とは異なる特徴的な性質を学びました。



第6回 KagaQ トークライブ「プロジェクションマッピングの舞台裏」

日時	8/2(水) 19:00~20:00
対象	高校生~おとな
講師	杉森順子(愛知工科大学准教授)
会場	文化系飲食店「ボクモ」
主催	KagaQ

愛知工科大学の杉森順子先生をお迎えし、プロジェクションマッピングの製作事例に沿った具体的な作り方の紹介と、最新の応用について楽しくお話を伺いました。



星の砂を電子顕微鏡でみてみよう(ワークショップ)

日時	8/2(水) 13:30~15:00
対象	小学4年~高校生
講師	一田昌宏(豊橋市自然史博物館学芸員)
会場・主催	豊橋市自然史博物館

いろいろな方法で星の砂を観察し、有孔虫について学びました。



おじやま虫キャラバンーハチのからだを見てみよう

日時	8/2(水) 10:00~16:00
対象	子ども~おとな
会場	名古屋市科学館 生命館2階
主催	名古屋市科学館
協力	名古屋市生活衛生センター

名古屋市生活衛生センターの協力で、スズメバチの標本作り講習会、スズメバチなどの生きた昆虫、標本、パネル、衛生害虫等(セアカゴケグモ)がかくれているオブジェの展示、昆虫にちなんだ簡単な工作を行いました。



虹を作る装置を作ってみよう

日時	8/2(水)①11:00~12:00、②14:00~15:00
対象	小学生
講師	株式会社ニデック
会場	蒲郡市生命の海科学館
主催	蒲郡市生命の海科学館

光を分ける「分光器」を作り、光の不思議や目の仕組みについて学びました。



名工大テクノチャレンジ

日時	8/2(水)~8/4(金)
対象	小・中・高校生
会場	名古屋工業大学
主催	名古屋工業大学技術部
共催	名古屋工業大学ものづくりテクノセンター、電気学会 東海支部

小学生から高校生を対象とし、大学内の施設・設備で、日常では体験できない「つくることや、はかることの面白さ」、「実験やプログラミングを行うことの楽しさ」を体験し、工学技術に親しんでもらうことができました。



航空宇宙工学の今～研究者から見た航空宇宙工学～

日時	8/2(水) 13:30～15:00
対象	おとな
講師	岩川輝(名古屋大学大学院工学研究科講師)
会場	三井住友銀行 SMBC パーク栄
主催	三井住友銀行 SMBC パーク栄

旅行で飛行機を使う方、ニュースでロケットの打ち上げや人工衛星のことを聞く方。日常のすぐ側にいる航空宇宙分野、でもなんだか遠い世界の話。そんな方々へ向けて、もっと身近に航空宇宙を感じてもらうために、研究者から見た航空宇宙工学の今をお伝えしました。



第 189 回 東三河サイエンスカフェ「グーグルアース」

日時	8/3(木) 18:30～20:00
対象	高校生～おとな
講師	河合和久(豊橋技術科学大学准教授)
会場	豊橋技術科学大学 豊橋駅前サテライトオフィス
主催	豊橋技術科学大学

講演会や体験講座とは違い、ゲストスピーカー河合和久准教授(情報・知能工学系)や、他の参加者とのフランクな語らいを楽しむ「東三河サイエンスカフェ」。第 189 回のテーマはソフトウェア「グーグルアース」についてでした。



集まれ中・高校生！「サイエンス実践塾」第 2 回マイクロ・ナノの世界～マイクロをもっと身近に～

日時	8/3(木) 13:30～17:00
対象	中・高校生
会場	あいち産業科学技術総合センター本部
主催	愛知県
協力	株式会社日立ハイテクノロジーズ

(株) 日立ハイテクノロジーズのスタッフによる出前授業を実施し、「マイクロ・ナノの世界」について実験を通して学びました。また、センターに設置されている機器の見学も行いました。参加者からは「人間の目では見られないとこまで見ることができ、貴重な体験ができた」との声がありました。



夏休み子ども実験講座「電気のひみつを知ろう」

日時	8/3(木) 13:30～15:00
対象	小学3年生～中学生
講師	中部電力熱田営業所
会場	名古屋市鶴舞中央図書館
主催	名古屋市鶴舞中央図書館

発電の仕組みやエネルギー諸問題について、中部電力熱田営業所スタッフによる出前授業を実施しました。手回し発電器や足こぎ発電機で実際に発電を体験し、電気を作るためにたくさんのエネルギーが必要だということを頭と体で学習しました。



DNA 抽出実験

日時	8/3(木) 14:00～15:00
対象	子ども～おとな
講師	白瀧千夏子(蒲郡市生命の海科学館)
会場	蒲郡市生命の海科学館
主催	蒲郡市生命の海科学館

バナナをつぶし、食塩と台所用洗剤とエタノールを使って、DNAを取り出しました。自由研究のヒントになったという人も多かったようです。



ワクワク実験隊「鉄の不思議教室」

日時	8/3(木)①10:00～12:00、②14:00～16:00
対象	小学4年～6年生
会場	名古屋市科学館 生命館 学習室
主催	一般社団法人日本鉄鋼連盟、名古屋市科学館

(一社)日本鉄鋼連盟と共催して、鉄について学べる実験をクイズ形式で行いました。乾電池を使ったアーク放電やカイロ作り、百人おどしなど、驚きが絶えない実験教室でした。



名古屋文理大学 小学生プログラミング教室

日時	8/3(木)・8/4(金) 10:00～11:30
対象	小学4年～6年生
講師	名古屋文理大学情報メディア学部・長谷川聡教授、小橋一秀准教授、学生
会場	名古屋文理大学 文化フォーラム
主催	名古屋文理大学

本学情報メディア学科長谷川聡学部長及び小橋一秀准教授の指導のもと、学生がコード教育プロジェクトを立ち上げ、講師として「小学生プログラミング教室」と題し、小学生高学年を対象に講座を開講しました。手のひらサイズの「たこ焼き型」ロボット“Ozobot”を使用し、カラーコードシールを貼ってロボットをコントロールするプログラミングや、iPad上でできるOzoBlocklyというビジュアルプログラミング言語を使用したプログラミングを参加者に体験して頂きました。



未来の博士を育てる科学教室「荷物の運ばんと配送システムを知ろう！」

日時	8/3(木)13:00～16:30
対象	小・中学生
会場	大垣市スイトピアセンター こどもサイエンスプラザ～バス見学
協力	西濃運輸株式会社・株式会社セイノー情報サービス
主催	大垣市文化事業団

運送用トラックを見学して、迅速かつ丁寧そして安全性に配慮して用途に合った荷台や運転席の工夫があることを知りました。配送システムでは、実際に指定された商品をバーコードリーダーを使って集める体験ができました。



東海の地球環境史を学ぼう

日時	8/3(木)8:30～17:00、8/4(金)8:20～18:00
対象	小学校高学年
会場	8/3:名古屋大学宇宙地球環境研究所、8/4;ふじのくに地球環境史ミュージアム(名古屋大学集合、バス移動)
主催	名古屋大学宇宙地球環境研究所
共催	ふじのくに地球環境史ミュージアム

小学校高学年を対象として、テフラ編年法と年輪年代法に関する講義や実習、静岡県ふじのくに地球環境史ミュージアムの見学、三保松原・日本平の巡検を実施し、東海の地球環境史について学びました。



数字の取り合い合戦！

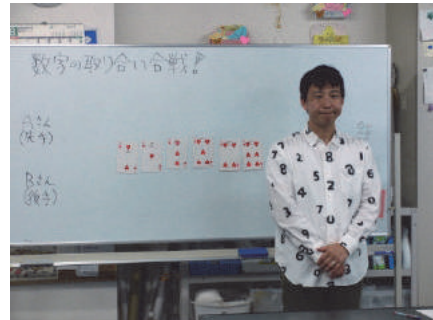
日時	8/4(金)①11:00～12:00、②14:00～15:00
----	---------------------------------

対象	小学生
----	-----

講師	黄瀬正敏(海陽中等教育学校教諭)
----	------------------

会場・主催	蒲郡市生命の海科学館
-------	------------

トランプのカードを一列に並べて交互にカードを取る「数字の取り合い合戦」をしました。相手よりも数字の和が大きくなるように頑張りました。

**岩石をみがいて化石をみつめてみよう(ワークショップ)**

日時	8/4(金) 13:30～15:30
----	--------------------

対象	小学4年生～高校生
----	-----------

講師	一田昌宏(豊橋市自然史博物館学芸員)
----	--------------------

会場	豊橋市自然史博物館
----	-----------

主催	豊橋市自然史博物館
----	-----------

身近な物をつかって、岩石の中の化石を探しました。

**未来の博士を育てる科学教室「ひみつをさがろう～キャンディ工場とびん工場見学～」**

日時	8/4(金) 13:00～16:30
----	--------------------

対象	小・中学生
----	-------

会場	大垣市サイトピアセンター こどもサイエンスプラザ～バス見学
----	-------------------------------

協力	株式会社鈴木栄光堂・日本耐酸壘工業株式会社
----	-----------------------

主催	大垣市文化事業団
----	----------

キャンディ工場の見学では水あめから包装までの工程がよく分かりました。また一人一人にインカムを導入してもらいました。びん工場では最新鋭の高速製造機を見学し、モノづくり日本の最先端技術を知りました。

**ITbM Lecture & New Building Tour**

日時	8/5(土) 14:00～16:30
----	--------------------

対象	中・高校生
----	-------

講師	山口茂弘(名古屋大学 ITbM 副拠点長/理学部教授)
----	-----------------------------

会場・主催	名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所
-------	-------------------------

蛍光分子のデザイン、機能開発、応用研究およびこれを進めるための分野融合研究の重要性について分かりやすく講演しました。ラボツアーでは、ITbM 棟の最大の特徴であるミックスラボ、ミックスオフィスの2層一体構造を中心に見学しました。参加者は蛍光分子の重要性について真摯に聞き入るとともに、ITbM 棟の構造が化学と生物学の融合研究を進展させていることに感じ入っていました。



土星をみる会

日時	8/5(土) 18:45～21:00
対象	子ども～おとな
会場	名古屋市科学館 プラネタリウム・天文台・星のひろば
主催	名古屋市科学館

プラネタリウムでその日に見る天体についての解説を聞いた後、理工館屋上天文台の 80cm 望遠鏡や、星のひろばに並べた望遠鏡を使って、天体を観望します。今年は土星の環が最も開いて見える年で、帽子のような形の土星を楽しんでいただきました。



再生医療ってなんだろう！～ひみつの J-TEC～

日時	8/5(土) 14:00～15:00
対象	小学生
講師	株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング
会場	蒲郡市生命の海科学館 実験工作室
主催	蒲郡市生命の海科学館

プラナリアなどを用いて、再生医療について楽しく学びました。



ひらめき☆ときめきサイエンス 2017「地層と化石を調べてみよう！－大地のなりたちを野外観察から探る－」

日時	8/5(土)・8/6(日) 9:00～17:30
対象	小学 5・6 年生～中学生
講師	星博幸(愛知教育大学准教授)
会場	愛知教育大学自然科学棟・岐阜県瑞浪市
主催	日本学術振興会・愛知教育大学

地層観察用の粒度板を作成し、それを用いて地層を観察しました。また、野外学習地では岩石ハンマーで化石採取をしました。観察と体験を通し、1800 万年前からこれまでの東海地方の大地の様子を考察しました。



夏休み自由研究相談会

日時	8/5(土) 10:00～15:00
対象	小学生～中学生
講師	愛知教育大学 理科教育講座 教員および学生
会場	愛知教育大学 自然科学棟
主催	愛知教育大学 科学・ものづくり教育推進センター

「ブランコの運動」や「イモリヤトカゲ、カナヘビなどの生態」、また、「災害時でも使える補助便座の制作」など、小学校 1 年生から中学校 2 年生まで、多種多様な相談があり、保護者からは自由研究のヒントを得ることができたと好評でした。



20周年記念リフレッシュ理科室

日時	8/5(土) 14:00~16:30
対象	小学3年生~中学生
講師	瀬瀬満(名古屋市科学館館長)
会場	名古屋市科学館 サイエンスホール・実験室
主催	公益社団法人応用物理学会、名古屋市科学館



(公社) 応用物理学会と共催して、『水の不思議と地球』と題した講演会と3つの工作教室 (A) イチゴジャムでプログラミングに挑戦! (B) 光スペクトルの不思議 (C) 超簡単! 単極モーターを行いました。

食虫植物の不思議を知ろう!

日時	8/5(土)・8/6(日)・8/12(土)・8/13(日) 16:00~16:30
対象	子ども~おとな
会場	名古屋市東山動植物園 植物会館前
主催	名古屋市東山動植物園

植物園職員とインターンシップの学生さんと一緒に、たくさんの種類の食虫植物を観察しました。それぞれの虫のつかまえ方の違いを、実際に見たり触れたりすることで感じていただきました。



獣医師 田向健一先生の講演会「珍獣病院の事件簿」

日時	8/6(日) 13:30~15:00
対象	子ども~おとな
講師	田向健一(獣医学博士)
会場	サイエンスワールド
主催	サイエンスワールド

普段は聞くことのできない獣医師の現場の話を聞く講演会です。最後には著作の当たるじゃんけん大会もあり、会場は盛り上がりました。



自由研究にぴったり♪身近な土のフシギをしらべよう!

日時	8/6(日) 14:00~15:00
対象	小学生
講師	米津利仁(愛知県総合教育センター研究指導主事)
会場	蒲郡市生命の海科学館 実験工作室
主催	蒲郡市生命の海科学館

土を観察して、土の不思議を体験しました。



特別企画展 記念講演会 性決定遺伝子で探る甲虫の武器

日時	8/6(日) 14:00~15:30
対象	小学3年生~おとな
講師	新美輝幸(基礎生物学研究所教授)
会場	豊橋市自然史博物館
主催	豊橋市自然史博物館



カブトムシの角がどのように進化してきたか、その形成のメカニズムと進化について、最新の研究成果を学びました。

なるほど！ザ・マルホン

日時	8/7(月)①11:00~12:00、②14:00~15:00
対象	小学生
講師	竹本油脂株式会社
会場	蒲郡市生命の海科学館
主催	蒲郡市生命の海科学館



※台風の影響で中止となりました。

顕微鏡プチ体験

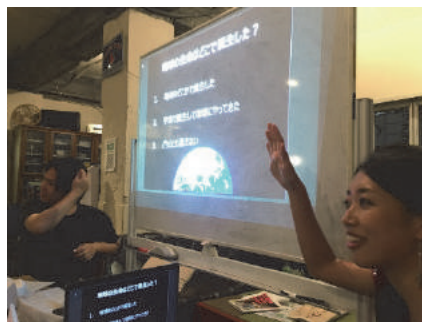
日時	8/8(火) 14:00~15:00
対象	子ども~おとな
講師	白瀧千夏子(蒲郡市生命の海科学館)
会場	蒲郡市生命の海科学館
主催	蒲郡市生命の海科学館



小型の顕微鏡で、鉾物やセミの抜け殻などを観察しました。短時間で気軽に科学体験ができ、好評でした。

最新の知見で考えるアストロバイオロジー ~宇宙の視点から見た生命と環境の共進化~

日時	8/9(水) 19:30~20:00
対象	おとな
講師	花本夏輝(名古屋大学大学院環境学研究院院生)
会場	シェアベース
主催	KagaQ
共催	No Gravity No Fun @ Sharebase.InC



名古屋大学環境学研究院の大学院生、花本夏輝さんに「地球史における生物進化と環境変化の関係」、「惑星の環境と生物の生息の可能性」のお話を伺い、参加者が紙粘土でオリジナルの宇宙生命体を作り、発表しました。

みえた？みえた？みえたー＼(^o^)/ ～光とレンズで遊ぼう～

日時	8/9(水)①11:00～12:00、②14:00～15:00
対象	小学生
講師	伊藤工学工業株式会社
会場	蒲郡市生命の海科学館 実験工作室
主催	蒲郡市生命の海科学館

レンズを使ったり、実験道具を作ったりして、身近にある光で遊びました。



のぞいてみよう！プラズマと生物と医療の不思議な世界

日時	8/10(木) 10:10～17:00
対象	中・高校生
会場	名古屋大学 ES ホール・ES 会議室
主催	名古屋大学プラズマ医療科学国際イノベーションセンター、日本学術振興会

「未来をつくるプラズマ」と「プラズマで人類を救おう」の講義と共に、プラズマのデモを開催しました。プラズマを生体に照射して起きる不思議な現象として、医療分野への応用例、止血・遺伝子導入・がん治療・再生医療などを紹介しました。さらに農業分野への殺菌、成長促進技術についても取り上げました。

DNA、蛋白、糖鎖などの生命活動に与える生体分子への影響などを通して、新しい生命科学、生物の不思議、未来医療の可能性への期待を理解してもらいました。



企画展特別講演会「蝶の世界－奈良坂源一郎と田淵行男の業績」

日時	8/10(木) 13:30～15:00
対象	小学校高学年～おとな
講師	高橋昭(名古屋大学名誉教授・元名古屋大学附属病院長)
会場	名古屋大学博物館 講義室
主催	名古屋大学博物館

高橋 昭 (名古屋大学名誉教授・元名古屋大学附属病院長) の長年の研究や交友を交えながら、展示中の奈良坂源一郎と田淵行男の博物画や研究を興味深く話しました。参加者からも活発な質問・意見などがありました。



えほん meets 博物館『せいめいのれきし(改訂版)』

日時	8/10(木)①11:00~12:00、②14:00~15:30
----	----------------------------------

対象	①未就学児と保護者、②小学生以上の子どもと保護者
----	--------------------------

会場	蒲郡市生命の海科学館
----	------------

主催	国立科学博物館、蒲郡市生命の海科学館
----	--------------------

協力	株式会社岩波書店
----	----------

絵本の一部を用いて特別に作成された、本イベント専用のミッションシートを持って、館長と来場者が一緒に科学館を探検しました。絵本と科学館の展示がつながり、より興味関心が深まりました。



身のまわりのふしぎ No.5 ふしぎのわけをしらべよう！

日時	8/11(祝)①11:00~12:00、②14:00~15:00
----	----------------------------------

対象	小学生~高校生
----	---------

講師	沓名健次(光ヶ丘女子高等学校講師)
----	-------------------

会場	蒲郡市生命の海科学館
----	------------

主催	蒲郡市生命の海科学館
----	------------

午前はサイエンスショー、午後はワークショップを実施しました。ワークショップではカラフルな粒を作って、それを使った時計を作りました。



昼間の星をみる会

日時	8/12(土) 10:30~14:30
----	---------------------

対象	子ども~おとな
----	---------

会場	名古屋市科学館 理工館 天文台
----	-----------------

主催	名古屋市科学館
----	---------

望遠鏡を使うと昼間に星が見られます。理工館屋上天文台の80cm望遠鏡を使って青空の中の星をご覧くださいました。入館者対象です。



マイナス 196 度の不思議な世界！！

日時	8/12(土) ①11:00~12:00、②14:00~15:00
----	-----------------------------------

対象	子ども~おとな
----	---------

講師	岩山勉(愛知教育大学教授)、愛知教育大学学生
----	------------------------

会場	蒲郡市生命の海科学館
----	------------

主催	蒲郡市生命の海科学館
----	------------

液体窒素を使ったサイエンスショーで、低温の世界を楽しみました。



小学校高学年向け定例講座(5・6年生)理科実験室 君も電池になる!?!~いろいろな電池をつくろう~

日時	8/13(日) 14:00~15:00
対象	小学5・6年生
講師	浅井インタープリター
会場	蒲郡市生命の海科学館 実験工作室
主催	蒲郡市生命の海科学館



果物やジュース、墨などが電池になることを体験しました。最後は自分自身が電池になりました。

カラフルラムネを作ろう!!

日時	8/14(月)①11:00~12:00、②14:00~15:00
対象	小学生
講師	池谷知夏(「りかたまクラブ」/国立科学博物館認定サイエンスコミュニケーター)
会場	蒲郡市生命の海科学館 実験工作室
主催	蒲郡市生命の海科学館



色水を使って、カラフルなラムネを作りました。

ヌマエビすくい大会

日時	8/16(水) 14:00~15:00
対象	小・中学生
講師	桜丘高等学校生物部の皆さん・鈴木順久教諭
会場	蒲郡市生命の海科学館 実験工作室
主催	蒲郡市生命の海科学館



ヌマエビは淡水産の小さなエビです。ヌマエビのことを学んだあと、ヌマエビすくいを体験しました。

藤岡コレクションと愛知県のチョウ

日時	8/16(水)~8/31(木) 10:00~16:00
対象	子ども~おとな
会場	中部大学 名古屋キャンパス 2階展示室
主催	中部大学
共催	三河昆虫研究会・杉坂美典氏
監修	名和昆虫博物館



中部大学蝶類研究資料館の展示として、藤岡コレクション、三河昆虫研究会・杉坂美典氏のコレクションおよびバーチャルコーナー等を展示し、小学生からシニアの方まで多くの方にご来館いただきました。

海の化石・岩塩～結晶のふしぎ～

日時	8/17(木) 14:00～15:00
対象	子ども～おとな
講師	山中敦子(蒲郡市生命の海科学館館長)
会場・主催	蒲郡市生命の海科学館

顕微鏡で岩塩に閉じ込められている太古の海水や大気を観察しました。岩塩を割ってサイコロをつくる体験もしました。



実用 1 石トランジスタラジオ作り

日時	8/18(金) 14:00～15:00
対象	小学生
講師	平岩和通(平岩動物病院)
会場	蒲郡市生命の海科学館
主催	蒲郡市生命の海科学館

実際に使えるラジオの製作を行いました。簡単な構造でも感度は抜群です。



キッズ ボタニカル・ラボ

日時	8/19(土) 13:00～16:30
対象	小学3年～6年生の親子
講師	瀬上紹嗣(名古屋大学大学院生命農学研究科特任助教)
会場	名古屋市東山動植物園 植物会館研修室
主催	名古屋市東山動植物園、名古屋大学大学院生命農学研究科 細胞ダイナミクス研究室、名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

大学の研究者と一緒に実験ができるイベントを開催しました。「光合成」について、仮説を立て、実験をするという科学的な手順を体験していただきました。



文学座女優によるプラネタリウム朗読会～水の中の大冒険～

日時	8/19(土) 14:00～15:00
対象	子ども～おとな
講師	中川雅子(文学座)
会場	大垣市サイトピアセンター コスモドーム
主催	大垣市文化事業団

「物語をあきさせないで、芝居と読みで違和感なく、楽しめた。」
「目で読むのとは違い、感情豊かな声で、情景が浮かぶところが良かった。」
「知らない作品に出会えた。」
「映像と一緒に楽しめて良かった。」などの評価を得ました。



飛ぶことをやめた鳥たち(講演会)

日時	8/19(土) 14:00~15:00
対象	小学4年生~おとな
講師	安井謙介(豊橋市自然史博物館学芸員)
会場・主催	豊橋市自然史博物館

ダチョウやペンギンなど、飛ぶことをやめた鳥類のヒミツを標本とともに学びました。

**天気と南極のトークショー**

日時	8/19(土) 14:00~15:00
対象	子ども~おとな
会場	名古屋市科学館 生命館 サイエンスホール
主催	名古屋市科学館、NPO 法人気象キャスターネットワーク

NPO 法人気象キャスターネットワークと共催。テレビやラジオでおなじみのお天気キャスターと、第56・58次南極観測隊員の当館学芸員が出演し、天気、気象、環境や南極にまつわるトークショーを開催しました。

**土星と二重星をみる会**

日時	8/19(土) 18:45~21:00
対象	子ども~おとな
会場	名古屋市科学館 プラネタリウム・天文台・星のひろば
主催	名古屋市科学館

プラネタリウムでその日に見る天体についての解説を聞いた後、理工館屋上天文台の80cm望遠鏡や、星のひろばに並べた望遠鏡を使って、天体を観望します。土星とはくちょう座の二重星アルビレオを楽しんでいただきました。

**夏だ！ワクワク科学館まつり 2017 ちりめんじゃこから夏の生き物をさがそう！**

日時	8/19(土) 10:00~16:00
対象	子ども~おとな
講師	日比野久美子(名古屋文理大学短期大学部教授)、市原俊(名古屋文理大学短期大学部助教)
会場	メタウォーター下水道科学館あいち
主催	メタウォーター下水道科学館あいち

ちりめんじゃこの中に混入している様々な海洋生物「ちりめんモンスター」を探して観察することで、生き物の分類、多様性、生態系などについて来場者に学んでいただきました。参加者の中には昨年度の同ブースに参加していただいた児童もいました。



宇宙探査ロボットを作ろう！

日時	8/19(土)①9:30～12:30、②13:30～16:30
対象	小学3年生～中学2年生
講師	北原達正(子どもの理科離れをなくす会代表)
会場	蒲郡市生命の海科学館 実験工作室・サイエンスホールーム
主催	蒲郡市生命の海科学館、一般社団法人サファイア青少年グローバル交流センター、一般社団法人国際科学教育協会



コンピュータ内蔵のロボット教材を用いて、ロボットのプログラミングに挑戦しました。どうすれば目的を達成できるのか、参加者はペアで協力し、試行錯誤しながら熱中して取り組んでいました。

化学実験を通じて、環境問題を考えよう！

日時	8/19(土)①11:00～12:00、②14:00～15:00
対象	小学生
講師	株式会社東海分析化学研究所
会場	蒲郡市生命の海科学館 実験工作室
主催	蒲郡市生命の海科学館



地球温暖化、リサイクルなどの環境問題に関する簡単な科学実験を体験しました。騒音計にも触れ、環境を学びました。

防災ウォッチ！(第36回名古屋市防災展)

日時	8/19(土)～8/20(日)
対象	子ども～おとな
会場	名古屋市港防災センター
主催	名古屋市港防災センター、名古屋市



館内の防災妖怪探しをメインとし、様々な機関の協力のもと、自然災害科学実験、消防車やウニモグなどへの乗車体験、非常食試食販売、暗闇体験、レスキュークローラー体験・レスキューロボット実演、災害用トイレの使い方、防災ゲーム、DOPASぬりえなどを実施しました。

化石発掘体験(ワークショップ)

日時	8/20(日) 10:00～15:00
対象	小学4年生以上
講師	吉川博章(豊橋市自然史博物館主任学芸員)
会場・主催	豊橋市自然史博物館

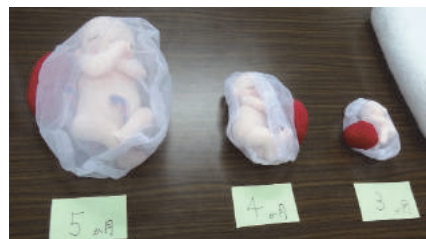


岐阜県瑞浪市産の岩石から1500万年前の化石を取出し、標本作製しました。

かがくゼミナール いのちをつなぐ「へそのお」と「たいばん」

日時	8/20(日) 14:00~16:00
対象	小学3年生~中学生までと保護者
講師	鈴木和代(名古屋大学名誉教授)、ナーベルプラ座
会場	名古屋市科学館 生命館 学習室
主催	名古屋市科学館

鈴木和代さんとナーベルプラ座のみなさんによる「胎盤のはたらき」「胎児の成長」「思春期のからだの変化」のお話と、お産の劇、胎盤の実物、各時期の胎児の人形、巨大子宮袋、実際の赤ちゃんを見てふれる内容でした。



夏だ！ワクワク科学館まつり 2017 科学工作

日時	8/20(日) 10:00~15:30
対象	子ども~おとな
講師	成田裕一(名古屋文理大学准教授)、名古屋文理大学サイエンスサークル
会場	メタウォーター下水道科学館あいち
主催	メタウォーター下水道科学館あいち

「夏だ！ワクワク科学館まつり 2017」に「科学工作」を出展しました。音階ごとの長さで切って作る笛の作成や、気圧を利用しマシュマロを膨らませる実験、ペットボトルの中で作る竜巻の実験等を来場者に体験頂きました。



化石のレプリカを作ろう

日時	8/20(日) 14:00~15:00
対象	小学生
講師	園原誠(岡崎市美川中学校教諭)
会場	蒲郡市生命の海科学館 実験工作室
主催	蒲郡市生命の海科学館

化石のレプリカを作成しました。化石について楽しく学びました。



平成 29 年度「豊橋技術科学大学 TUT ラボ」

日時	8/21(月)~8/24(木) 10:00~16:00
対象	愛知県及び静岡県西部地域の高校生
会場・主催	豊橋技術科学大学

尾張地区から静岡県西部地区の15校40名の高校生が選択した5テーマに分かれ、各研究室で実験実習を行いました。最終日の午後には成果発表会を行い、4日間の実習の成果を発表しました。



平成 29 年度理科観察実験指導力向上セミナー

日時	8/21(月) 9:00~17:00
対象	現職小学校教員
講師	愛知教育大学 理科教育講座教員
会場	愛知教育大学 自然科学棟
主催	公益社団法人日本理科教育振興協会
共催	愛知教育大学、全国小学校理科研究協議会

現職小学校教員を対象に、理科の指導法や実験器具の取扱、実験中の事故防止など、知らなかったことや忘れてしまったことを学び直すことができたという声が寄せられました。



くるくるレインボー

日時	8/21(月) 14:00~15:00
対象	小学生
講師	愛知工科大学 AUT 活動部
会場	蒲郡市生命の海科学館
主催	蒲郡市生命の海科学館

虹色に輝きながらまわる、不思議なおもちゃの工作をしました。



企画展特別講演会「昆虫の一生とホルモン」

日時	8/23(水) 13:30~15:00
対象	小学校高学年~おとな
講師	溝口明(愛知学院大学教授/元名古屋大学准教授)
会場	名古屋大学博物館 講義室
主催	名古屋大学博物館

昆虫ホルモンの研究者の溝口明(愛知学院大学教授・元名古屋大学准教授)が、世界をリードした名古屋大学の昆虫ホルモン学を話しました。変態などに多くのホルモンが関わり、また、人も昆虫も類似のホルモンがある事を知りました。



ラーニングフェスタ 2017

日時	8/24(木) 9:30～10:20
対象	高校生
講師	足立忠晴(豊橋技術科学大学教授)
会場	豊橋創造大学
主催	東三河・浜松地区高大連携協議会

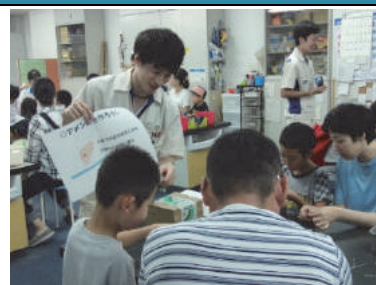
東三河・浜松地区高大連携協議会加盟の大学教員が高校生に身近なテーマの講座を行いました。本学からは機械工学系の足立忠晴教授が「機械工学における安全とは何か。壊さないこと・壊すこと。」と題した講座を実施しました。



おいでよ！かがくの森

日時	8/24(木)①11:00～12:00、②14:00～15:00
対象	小学生
講師	竹本油脂株式会社
会場・主催	蒲郡市生命の海科学館

しゃぼん膜に囲まれる体験など、3つの科学体験を通じて楽しく学びました。



ひらめき☆ときめきサイエンス 2017「“天気予報のツボ”：実況・予報データの分析実習や気象実験と合わせて学ぶ」

日時	8/25(金) 10:00～16:30
対象	中・高校生
講師	田口正和(愛知教育大学准教授)、他
会場	愛知教育大学
主催	愛知教育大学、日本学術振興会

天気予報の仕組みや歴史・現状について、中高生にも分かりやすく解説がされました。参加者たちは実際の事例やデータによる分析実習と予報作成体験などから“天気予報のツボ”を学びました。



電気のしくみと空気のふしぎを学ぼう！

日時	8/25(金)①11:00～12:00、②14:00～15:00
対象	小学生
講師	中部電力株式会社
会場・主催	蒲郡市生命の海科学館

水力・火力・風力発電模型で発電の仕組みを学びました。実験から空気の不思議を見つけました。



プラネタライブ「ピアノ&エレクトーンアンサンブル」

日時	8/26(土) 14:00～15:00
対象	子ども～おとな
講師	大垣女子短期大学ピアノ&エレクトーンアンサンブルクラブ
会場	大垣市スイトピアセンター コスモドーム
主催	大垣市文化事業団

「子どもが知っている曲があって楽しめた。」「星空と演奏のコラボレーションがよかった。」「曲と映像のコラボがとても良い。」「子どもに連れられてきましたがとても感動した」などの評価を得ました。



ティラノサウルスの歯型をつくろう(ワークショップ)

日時	8/26(土) 14:00～15:30
対象	小学4年生以上
講師	安井謙介(豊橋市自然史博物館主任学芸員)
会場	豊橋市自然史博物館
主催	豊橋市自然史博物館

ティラノサウルスやトラなどの歯型をつくり、恐竜と哺乳類の歯について学びました。



第54回地球教室フィールドセミナー 愛知県の石ピッチストーンってどんな石？

日時	8/26(土)13:30～16:30、8/27(日)9:00～16:30
対象	小学3年生以上
会場	名古屋大学博物館、新城市鳳来寺山
主催	名古屋大学博物館、名古屋市科学館
協力	愛知大学名古屋一般教育研究室、鳳来寺山自然科学博物館

「ピッチストーンとは何か？」という謎解きをしながら、愛知の自然について知ってもらいました。講義や実験を通してピッチストーンのでき方を説明し、鳳来寺山に採取にも行きました。



航空宇宙フェア'17

日時	8/26(土)13:00~18:00、8/27(日) 10:00~17:00
対象	子ども~おとな
講師	山路史朗(航空自衛隊飛行開発実験団)、中村友哉(株式会社アクセルスペース代表取締役)、小林実(名古屋大学大学院工学研究科特任教授)
会場	電気文化会館 イベントホール
主催	日本航空宇宙学会中部支部

夏休み期間中に開催したこともあり、子供から大人まで、航空宇宙に日頃馴染みの少ない方々に多くご来場いただき、航空宇宙関連情報を広く発信し、航空宇宙産業がひとつの日本文化として根を張るための活動を行うという、本フェアの目的を達成できました。



化石ってなあに？ 三葉虫ってなあに？

日時	8/26(土)①11:00~11:40、②13:00~13:40、③14:30~15:10
対象	小学生
講師	小野輝雄氏
会場・主催	蒲郡市生命の海科学館

ノジュールと呼ばれる丸い石を割って、三葉虫の化石を探しました。化石クリーニングを体験しながら、三葉虫について学びました。



昼間の星をみる会

日時	8/27(日) 10:30~14:30
対象	子ども~おとな
会場	名古屋市科学館 理工館 天文台
主催	名古屋市科学館

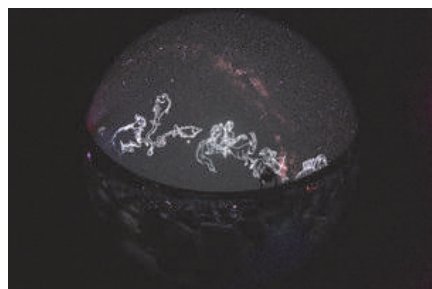
望遠鏡を使うと昼間に星が見られます。理工館屋上天文台の80cm 望遠鏡を使って青空の中の星をご覧くださいました。入館者対象です。



夜間投影「旧暦七夕の夜」

日時	8/27(日) 18:30~
対象	高校生以上
会場	名古屋市科学館 プラネタリウム
主催	名古屋市科学館

今回の夜間投影は、一般投影とは別に設定したテーマを深く解説しました。今年の旧暦七夕は8月28日、その前夜に七夕の歴史や奄美地方に伝わる七夕の物語をご覧くださいました。



パイプ椅子製作で“ものづくり”を学ぼう！

日時	8/27(日)①11:00～12:00、②13:00～14:00
対象	小学生
講師	アイシン・エイ・ダブリュ株式会社
会場・主催	蒲郡市生命の海科学館

実際に座れる便利なパイプ椅子を作りました。ものづくりの楽しさを実感できました。



第 26 回公開セミナー「天文学の最前線」－宇宙における爆発・衝突現象－

日時	8/28(月)10:00～18:30、8/29(火)10:00～19:00、8/30(水)10:00～15:30
対象	高校生以上
講師	竹内努/井上剛志/今田晋亮/毛受弘彰/西澤篤志/西村淳/鈴木仁研(名古屋大学)、藤田裕(大阪大学)、中島亜紗美(名古屋市科学館)
会場	8/28 名古屋大学坂田・平田ホール 8/29 名古屋市科学館サイエンスホール・プラネタリウム 8/30 名古屋大学野依記念学術交流館
主催	名古屋大学大学院理学研究科、名古屋大学宇宙地球環境研究所、名古屋市科学館

毎年夏休みに恒例となっている公開セミナーを名古屋市科学館との共催で3日間開催しました。今回は超新星爆発や太陽フレア、銀河・銀河団衝突など、過激ともいえる爆発・衝突現象をテーマとして取り上げました。抽選がでるほどの多数の参加者があり、好評でした。



砂浜の貝がらでオリジナルストラップをつくってみよう！

日時	8/28(月)①11:00～12:00、②14:00～15:00
対象	子ども～おとな
講師	愛知県立三谷水産高等学校 増殖部
会場・主催	蒲郡市生命の海科学館

貝殻のストラップを作りながら、貝のことを学びました。



アンモナイトのひみつ

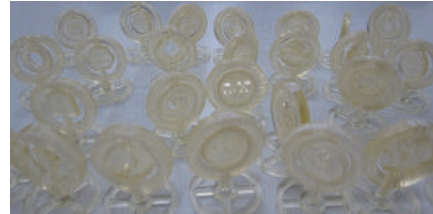
日時	8/29(火) 14:00～15:00
対象	子ども～おとな
講師	山中敦子(蒲郡市生命の海科学館館長)
会場	蒲郡市生命の海科学館 実験工作室
主催	蒲郡市生命の海科学館

アンモナイトの化石をけずって観察し、カラの秘密を探りました。



3D工房

日時	8/31(木) 9:00~17:00
対象	高校生以上
講師	名古屋大学装置開発室技術職員
会場	名古屋大学 東山キャンパス
主催	名古屋大学理学部装置開発室
協力	名古屋大学理学部技術連絡委員会、博士課程教育リーディングプログラム「フロンティア宇宙開拓リーダー養成プログラム」



東山キャンパスにおいて8月31日(木)に、理学部装置開発室で3回目となる公開講座を開催しました。一般の方が3D-CAD(SolidWorks)を操作してモデリングを行い、モデリングを3Dプリンタで造形する製造工程を体験しました。

名古屋市科学館・中京大学連携講座 動く昆虫メカを作ろう！

日時	9/2(土) 10:30~16:00
対象	小学生と保護者
講師	森島昭男(中京大学教授)、他(人工知能高等研究所所属)
会場	名古屋市科学館 生命館 学習室
主催	名古屋市科学館



森島昭男教授はじめ中京大学工学部関係者の指導で昆虫メカを作りました。午前には6本足を含む下半分、午後は羽やツノを含む上半分の順に工夫をこらして完成後、昆虫メカ同士を対決させて遊ぶなど盛り上がりました。

名古屋市立大学×名古屋市科学館共催「ようこそ生命科学の世界へ」

日時	9/2(土) 15:30~19:15
対象	中・高校生
講師	鈴木善幸・澤本和延・白根道子(名古屋市立大学)
会場	名古屋市科学館
主催	名古屋市立大学、名古屋市科学館



総合生命理学部新設を記念して、中高生を対象に「ようこそ生命科学の世界へ」を名古屋市科学館と共催で開催しました。「生命科学」をテーマとした講演のほか、研究者・学芸員との交流会、展示室見学を楽しみました。

4. あいちサイエンスフェスティバル 2017 イベント報告

4-1. プレイイベント「集まれ！未来の科学者たち」

今年も愛知県産業労働部の紹介により、イオンモールにてプレイイベントを開催しました。今年のはじめでアイドルをゲストに迎えて、普段あまり科学に関心のない人たちにも興味をもってもらえるように、内容を工夫しました。

あいちサイエンスフェスティバル 2017 プレイイベント in イオンモール新瑞橋「集まれ！未来の科学者たち」

日時	9/9(土) 10:00～16:10
対象	子ども～おとな
会場	イオンモール新瑞橋 セントラルコート
主催	愛知県
協力	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部、サイエンスワールド

今年の会場は、イオンモール新瑞橋のセントラルコートでした。あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークのポスター展示に加え、時間を区切って、以下に掲載する、科学工作、実験ショー、ワークショップを開催しました。



科学工作「カラフル葉脈しおり」

日時	9/9(土) 10:00～13:30
対象	子ども～おとな
講師	サイエンスワールド

ヒラギモクセイの葉脈標本を食用色素で染め、きれいなしおりをつくりました。ショッピングに訪れた親子連れが興味をもって、たくさんの方が体験してくれました。



実験ショー「マローブルーティーの不思議」

日時	9/9(土) 14:00～15:00
対象	小学生
講師	白瀧千夏子(蒲郡市生命の海科学館 専門嘱託員)
進行	池永百合、桑名ありさ、佐山カオル(dela)

名古屋のアイドルグループ dela に所属する3人と、白瀧博士による、実験ショーを開催しました。ショーの台本は、白瀧博士が原案を作成し、名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部のスタッフが助手等をつとめました。



デモンストレーションをする dela の3人

マローブルーティーは、酸性やアルカリ性の液体を加えると色が変わります。その性質について、まず dela と白瀧博士が芝居仕立てのデモンストレーションで紹介しました。その後、準備された様々な液体を使って、子どもたちが実際に色の変化を観察しました。低学年の子どもには実験やワークシート記入が難しい面もありましたが、dela や博士、助手らが丁寧に手伝いながら、グループでの実験を進めました。最後に結果を共有し、酸性とアルカリ性について、わかったことをまとめました。



グループでの実験

ワークショップ「魔法のフィルムで“灯り”の正体を探ろう！」

日時	9/9 (土) 15:30~16:10
対象	小学4年~6年生
講師	牛田泰久(名古屋大学未来材料・システム研究所客員教授)
進行	高橋麻美(名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部)

名古屋大学で天野浩教授らと GaN(窒化ガリウム)研究を進める産学連携プロジェクトの紹介の一環として、光の仕組みを知り、LED の効率について考えるきっかけとなるワークショップを開催しました。

光をスペクトルに分解する回折格子フィルムを使って、白熱灯、蛍光灯、LED のそれぞれの電球を覗いてみると、それぞれ異なるスペクトルが見えました。また、LED 電球は少ない電気で光るように工夫されていて、さらに研究が進められていることが説明されました。子どもたちは「白い光」が実はいろいろな色の光でできていることを知り、興味深そうにフィルムを覗いていました。



魔法のフィルム(回折格子フィルム)の紹介



箱に入った電球を覗いてみる参加者たち

4-2. 特集 1「楽しい化学、深める化学」

今年、「化学」を特集の1つのテーマとしました。私たちの生活のあらゆるところで活躍している「化学」について、子どもには楽しく、大人には深く掘り下げる企画を用意しました。

講演会「分子をつなぐキューピット！？ 触媒が広げた化学の世界」

日時	10/9(祝) 14:00~16:30
対象	中学生以上
講師	山本尚 (中部大学分子性触媒研究センター長/ 名古屋大学名誉教授) 石原一彰(名古屋大学大学院工学研究科教授) 中寛史(名古屋大学物質科学国際センター助教) モデレーター: 辻篤子(名古屋大学国際機構特任教授)
会場	名古屋大学 坂田・平田ホール
主催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部



坂田・平田ホールに集まった参加者たち

名古屋大学がノーベル賞受賞者を輩出した分子触媒研究は、医薬品やエネルギー、工業製品など、私たちに身近な分野で、様々な活用されています。その分子触媒研究の進展や、研究の面白さや難しさについて、名古屋大学名誉教授の山本尚先生をお招きして、講演会を開催しました。

まず、若手研究者の代表として、中先生が、分子とは、触媒とは、という基本的な理解をおさえた上で、山本先生の分子性触媒研究の業績や、山本先生が日本とアメリカをつなぐ架け橋として活動されていることを紹介しました。



講演する中寛史助教

続いて、山本先生は、「破壊的イノベーションと触媒化学」というタイトルで講演されました。山本先生は、イノベーションとは新しい技術の発明だけでなく、新しいアイデアから社会的意義のある新たな価値を創造し、社会的に大きな変化をもたらすことであると定義し、イノベーションには旧来の考え方からの思い切った非連続的な跳躍が必要であると述べました。中でも、従来の製品の性能を持続的に向上させる「持続的イノベーション」ではなく、その価値観を打ち崩すような「破壊的イノベーション」が求められおり、化学研究においても、既定の認識パラダイムの拘束から自己解放する intellect としての知性が必要であると話しました。



講演する山本名誉教授

続いて、石原先生は「ハロゲンに魅せられて：次世代触媒の研究戦略」というタイトルで講演されました。石原先生によると、理学部の目的は「真理の追求であり、解はひとつ」であるのに対し、自らの所属する工学部の目的は「より良いものをつくることであり、解は常に塗り替えられていく」点に、違いがあります。石原先生も、より良い触媒を社会に提供すべく、「収率」の良い触媒の研究開発に取り組んできたことを解説しました。



講演する石原教授

その後、休憩を挟んで、辻先生をモデレーターとして、登壇者の先生方との対談をおこない、会場からの質問にも答えました。山本先生は、数学者の廣中平祐先生に言われた言葉を引きながら、大局的な見地から自らの学問の位置や今後の発展、社会や人間のあり方を考えながら研究を進めて欲しいと話しました。



辻特任教授とともに会場からの質問に答える

全体として、分子触媒研究の基礎から最先端までを知るだけでなく、次世代の研究者へのメッセージに溢れた講演会となりました。

サイエンスデモンストレーション「触媒のちから～光る分子合成実験」

日時	10/9(祝) 13:00～13:50
対象	中・高校生
講師	伊藤英人(名古屋大学教養教育院講師)
会場	名古屋大学 理学南館 セミナー室
主催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部



伊藤講師

14時からの講演会に先立ち、中・高校生を対象に、2010年のノーベル化学賞にもなったクロスカップリング触媒反応を使って、光る分子の合成をデモンストレーションしました。イルミネーションのように明るく光る現象に、参加した中・高校生たちは、興味深く見入っていました。参加者は触媒反応について基本的な理解をもった上で、続く講演会に参加することができました。



目の前で触媒反応を見せる

実験ショー「マローブルーティーの不思議」

日時	10/1(日) 14:00～15:00
対象	小学生 * 観覧は一般も可
講師	白瀧千夏子(蒲郡市生命の海科学館 専門嘱託員)
進行	池永百合、桑名ありさ、佐山カオル(dela)
会場	松坂屋名古屋店 さくらパング広場
主催	松坂屋名古屋店、名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部



色の変化を見せる dela と白瀧博士

9月9日におこなったイベントの内容を一部改善し、サカエゴールの協力イベントとして、松坂屋名古屋店を会場に、実験ショーを開催しました。一人の子どもが実験できるサンプルを増やし、ワークシートはシンプルにするなどして、より充実した内容にしました。会場にはたくさんの観覧者も集まり、ショーとしても見ごたえのあるイベントとなりました。



子どもたちも実験

第14回高校化学グランドコンテスト 最終選考会

日時	10/28(土)14:00～17:00、10/29(日)9:45～16:45
対象	高校生～おとな
会場	名古屋市立大学田辺通キャンパス
主催	大阪市立大学、名古屋市立大学、横浜市立大学、読売新聞社

10月28日、29日に名古屋では初めての開催となる「第14回高校化学グランドコンテスト」の最終選考会が行われました。高校生らが日頃の研究成果の発表を行うとともに、海外から招かれた高校生らと交流を深めました。



4-3. 特集 2「豊かなる生物の世界と生命科学」

特集 2 は、子どもも大好きな生物の世界と、研究が進む生命科学の世界とを紹介する内容としました。サイエンストークでも関連の話題を扱いました。

特別講演会「昆虫に学ぶ生きる知恵」

日時	9/30(土)13:30～15:30
対象	小学校高学年～おとな
講師	山下興亜(名古屋大学名誉教授/前・中部大学学長)
会場	名古屋大学博物館 講義室
主催	名古屋大学博物館

昆虫のホルモン学研究者の山下興亜（名古屋大学名誉教授・前中部大学学長）より、変態などの例を交えて、昆虫の知恵を楽しく学びました。「面白かった、昆虫に学ぶべき点が多くある」と参加者に好評でした。



工藤光子「植物細胞壁のミクロの世界」コンセプトイラスト展

日時	9/30(土)～10/19(木) 10:00～22:00
対象	子ども～おとな
会場	松坂屋名古屋店 南館北入口
主催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

10月20日開催のサイエンストークと関連した展示を、松坂屋名古屋店の入口に設置しました。人通りの多い大津通側歩道からもよく見える場所で、あいちサイエンスフェスティバルの広報としても効果的な展示となりました。



講演会 せいめいのれきし

日時	10/8(日) 11:00～12:00
対象	小学校高学年～おとな
講師	真鍋真(国立科学博物館標本資料センター)
会場	蒲郡市生命の海科学館
主催	蒲郡市生命の海科学館

日本を代表する“恐竜博士”であり、絵本『せいめいのれきし』の監修者でもある真鍋真氏が、最新の恐竜研究の話も交えながら柔らかな語り口でお話をしてくださいました。参加者は皆、夢中になって聞き入っていました。



実験ショー「シロアリのフェロモン実験」

日時	10/29(日)14:00～15:00
対象	小学生
講師	長谷川道明(豊橋市自然史博物館 学芸専門員)、 白瀧千夏子(蒲都市生命の海科学館 専門嘱託員)
進行	川崎成美、桑名ありさ、佐山カオル(dela)
会場	松坂屋名古屋店 さくらパング広場
主催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部、松坂屋名古屋店



台風接近の荒天により、残念ながら中止となりました。ショーの台本は、講師の長谷川氏と白瀧氏が原案を作成しました。

ポタニカルトーク～植物管理人の温室トーク～

日時	11/3(祝)・4(土) 13:30～14:00
対象	子ども～おとな
会場	名古屋市東山動植物園 植物会館前集合
主催	名古屋市東山動植物園

温室植物について植物管理人が説明しました。管理方法や植物のヒミツなど、植物管理人ならではのお話をしました。



4-4. ASF サイエンストーク

4-4-1. 特集 2「豊かなる生物の世界と生命科学」

特集 2 の一環として、サイエンストークでも生命科学の世界を紹介しました。

第 1 回 「サイエンスコミュニケーター ～生命科学を伝える仕事～」

日時	10/20(金) 18:30～20:00
対象	高校生以上を想定
ゲスト	工藤光子(立教大学理学部特任准教授)
会場	三井住友銀行 SMBC パーク栄
主催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

松坂屋名古屋店でおこなった展示を SMBC パーク栄に移し、工藤光子氏のサイエンストークを開催しました。日本のサイエンスコミュニケーターの草分けでもある工藤氏は、「資料」のないミクロの生命科学分野においては、わかりやすい解説だけではなく、その世界をビジュアルに示す「ものづくり」としてのサイエンスコミュニケーションが重要であることを、レゴで作った DNA 模型など自らの作品を紹介しながら解説しました。日本ではサイエンスコミュニケーターという職業が制度的に確立していないことなど、サイエンスコミュニケーションをめぐる課題も共有されました。



第 2 回 [バイオカフェ in なごや]

「新たな品種改良法「ゲノム編集」とは？～健康によいキャノーラ油の作出をモデルとして～」

日時	10/23(月) 18:30～20:00
対象	高校生以上を想定
ゲスト	奥崎文子(玉川大学農学部准教授)
会場	三井住友銀行 SMBC パーク栄
主催	NPO 法人くらしとバイオプラザ 21、名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

NPO 法人くらしとバイオプラザ 21 との共催で、「バイオカフェ in なごや」を開催しました。奥崎氏は、現在進められている「ゲノム編集」は自然でおきている変異を人為的におこなうものであり、他の生物の遺伝子が入らないため、研究者の多くが安全であると考えていると話しました。参加者からの質問にも丁寧に答え、これからのバイオ技術について専門家と市民とが対話する機会となりました。



4-4-2. 図書館サイエンス夜話 ～シリーズ「宇宙」～

恒例の「図書館サイエンス夜話」。今年は人気の「宇宙」をテーマに、多彩な講師陣がトークを繰り広げました。

第1夜 「月から読み解く太陽系の歴史」

日時	10/6(金) 18:30～19:45
対象	高校生以上を想定
ゲスト	諸田智克(名古屋大学大学院環境学研究科講師)
会場	名古屋市鶴舞中央図書館 第1集会室
主催	名古屋市鶴舞中央図書館
共催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

もっとも近くにある天体「月」を調べることで実は太陽系の誕生のみみつも知ることができることをお話いただきました。月ができるまでのシミュレーション動画も見ることで、壮大な宇宙の歴史を実感しました。



第2夜 「世界最大のプラネタリウムをつくる」

日時	10/19(木) 18:30～19:45
対象	高校生以上を想定
ゲスト	毛利勝廣(名古屋市科学館主任学芸員)
会場	名古屋市鶴舞中央図書館 第1集会室
主催	名古屋市鶴舞中央図書館
共催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

プラネタリウムの歴史から、名古屋市科学館のプラネタリウムはいかにしてつくられたのかまで、多様な観点からプラネタリウムの魅力に迫りました。刻々と造られるドームの姿や投影機に使われている最新の技術についてのお話にロマンを感じました。



第3夜 「超小型衛星で切り開く宇宙フロンティア」

日時	10/26(木)18:30～19:45
対象	高校生以上を想定
ゲスト	田島宏康(名古屋大学宇宙地球環境研究所教授)
会場	名古屋市鶴舞中央図書館 第1集会室
主催	名古屋市鶴舞中央図書館
共催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

ChubuSat 開発に携われた先生から、超小型衛星がつけられるようになった背景やその苦労話などをお聞きました。衛星と言っても様々な種類があることを知り、人口衛星や宇宙観測に対する興味が広がりました。



4-4-3. 未来を拓くモノづくり

名古屋大学大学院工学研究科の講師陣が、それぞれの観点から物質の不思議と可能性に迫るトークを、実演を交えて披露しました。

第1回「おもしろレオロジー：どろどろ/ぐにぐにや物質の科学」

日時	10/11(水) 18:30~20:00
対象	高校生以上を想定
ゲスト	増淵雄一(名古屋大学大学院工学研究科教授)
会場	文化系飲食店「ボクモ」
主催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

歯磨き粉や口紅のように、液体でもあり固体でもあるような物質を科学する、レオロジーの世界を紹介しました。レオロジーは、イスのクッション性やタイヤの開発など、モノづくりにも活かされています。その科学の面白さを、ゲストの軽妙な語り口と実演とともに堪能しました。



第2回「自分をだます、触れる錯覚」

日時	10/30(月) 18:30~20:00
対象	高校生以上を想定
ゲスト	岡本正吾(名古屋大学大学院工学研究科講師)
会場	Cafe & Bar Perm (パームス)
主催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

同じ質量のモノを持っても、色や振動等によって重さに違いを感じるなど、人間の皮膚感覚は精度が悪く、錯覚を生じさせます。その錯覚を、参加者がペアになって体を動かしたり、小道具を触ったりしながら実感しました。参加体験型のサイエンストークを、会場一体で楽しみました。



第3回「ダイヤモンドで創る超高压力の世界～沈む氷。目の前に広がる100万気圧の世界～」

日時	11/17(金) 18:30~20:00
対象	高校生以上を想定
ゲスト	長谷川正(名古屋大学大学院工学研究科教授)
会場	Cafe & Bar Perm (パームス)
主催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

超高压力下で物質はどうなるのか？ その謎に迫る研究には大型のプレス機が必要でしたが、ゲストは手の平サイズの超高压発生装置を開発し、新たな研究を進めています。最後には、超高压力下で氷が水に沈む様子をマイクロ스코プの画面を通して見ることができ、会場から拍手がわきおこりました。



4-4-4. とともに生きる医学

健康長寿を目指す現代、医療や介護への関心が高まっています。今年のサイエンストークでは、医学系のラインナップを増やして、専門家と市民との対話の機会をもちました。

第1回「遺伝子からみるがん研究の最先端」

日時	10/16(月) 18:30~20:00
対象	高校生以上を想定
ゲスト	近藤豊(名古屋大学大学院医学系研究科教授)
会場	三井住友銀行 SMBC パーク栄
主催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

がんは遺伝子の異常による病気です。タバコ等の外的要因による突然変異だけでなく、遺伝子を制御するエピジェネティクスの変異によってもがんになることが説明されました。現在はがん細胞だけを攻撃する分子標的薬の開発が進んでおり、科学的証拠に基づいた治療法の選択が重要であると話しました。



第2回「なぜ家族介護者は共依存に陥りやすいのか？～手を抜けと言われるのが辛い心理～」

日時	11/1(水) 18:30~20:00
対象	高校生以上を想定
ゲスト	堀容子(一般社団法人ハッピーネット代表理事)
会場	文化系飲食店「ボクモ」
主催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

相手に必要とされることに喜びを感じ、過剰なまでに献身的に尽くすことによって自分の価値を見出す傾向を「共依存」と呼びます。介護に追われると狭い関係性の中で「共依存」に陥ったり、自分が楽しみを持つことに罪悪感をもったりすることを事例から紹介し、ケアラー支援の難しさと重要性を話しました。



第3回「神経難病・認知症の克服に向けた医学と社会の連携」

日時	11/10(金) 18:30~20:00
対象	高校生以上を想定
ゲスト	勝野雅央(名古屋大学大学院医学系研究科教授)
会場	三井住友銀行 SMBC パーク栄
主催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

神経難病・認知症の「予防治療」の研究が進んでいます。しかし薬剤が非常に高価だったり、発病の可能性が高いと言われて不安を感じたりと、社会的受入には壁があります。参加者はグループワークで神経難病検診のメリットとデメリットを整理し、偏見を生まない社会づくりなどの必要性を議論しました。



4-4-5. サイエンスを語らうタベ

今年も多彩なゲストとともに、科学と社会の接点について語りました。

第1回「素粒子物理の実験屋が、視覚障がい児の科学教育に関わる理由」

日時	10/18(水) 18:30~20:00
対象	高校生以上を想定
ゲスト	児玉康一(愛知教育大学教授)
会場	文化系飲食店「ボクモ」
主催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

盲学校の教師からの相談を契機に、音声電圧器や安価な感光器の開発などに関わるようになった経緯について話しました。実際に開発した装置を使ったデモンストレーションもあり、視覚障がいのある子どもの理科教育について理解を深めました。



第2回「科学報道に求められるもの」

日時	11/2(木) 18:30~20:00
対象	高校生以上を想定
ゲスト	辻篤子(名古屋大学国際機構特任教授/元・朝日新聞論説委員)
会場	Cafe & Bar Perms(パームス)
主催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

科学報道は、原子力が生みの親、宇宙開発が育ての親、と言われる。科学技術の進展とともに歩んだ科学記者としての経験や想いを、ふだんに語りました。3.11の際の新聞社の緊迫感や報道の難しさは想像に難しくなく、参加者とともに報道への期待や課題を共有しました。



第3回「まちを育てる「アート」と「サイエンス」のカ〜「アルスエレクトロニカ」。ヨーロッパの小さな町の大きな挑戦〜」

日時	11/6(月) 18:15~19:45
対象	高校生以上を想定
ゲスト	鷲尾和彦(株式会社博報堂クリエイティブ・プロデューサー)
会場	7th Cafe
主催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部
共催	公益財団法人名古屋市文化振興事業団

オーストリアのリンツ市で開催されるサイエンス・アートフェスティバルについて紹介しました。先端技術産業や人材育成、地域ブランド向上、国際的ネットワーク形成などの創造的触媒として機能するフェスの魅力と仕組みに圧倒されました。アートに関心を持つ市民がたくさん参加し、異分野交流の場ともなりました。



第4回「なぜ社会は右と左に分かれるのか？分断の計算社会科学」

日時	11/15(水) 18:30~20:00
対象	高校生以上を想定
ゲスト	笹原和俊(名古屋大学大学院情報学研究科助教)
会場	文化系飲食店「ボクモ」
主催	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部



SNSは多様な人とのつながりを広げると言われることがありますが、むしろ見たいものだけを見たり、つながりたい人とだけつながる傾向が強く、思想の分断を促進していることを、シミュレーション等で示しました。フロアから活発な質問が飛び交い、この分野への市民の関心の高さが伺えました。

4-5. 子どものためのサイエンスとものづくりイベント

今年も、子どもたちのためのイベントがたくさん開催されました。選りすぐりを紹介します。

青少年のための科学の祭典 2017 名古屋大会

日時	10/7(土)、10/8(日) 9:30~17:00
対象	子ども
会場	名古屋市科学館、でんきの科学館
主催	「青少年のための科学の祭典」名古屋大会実行委員会、中部科学技術センター、日本科学技術振興財団・科学技術館、名古屋市科学館、中日新聞社

(公財)中部科学技術センター等と共催で、名古屋市科学館およびでんきの科学館を会場に、さまざまな実験や工作体験を楽しみました。



秋の親子どうぶつ講座

日時	10/7(土)、9(祝)、14(土)、21(土)、28(土)、 11/11(土)、18(土) 14:00~15:00
対象	小中学生の親子または友人 1組 2名
会場	名古屋市東山動植物園
主催	名古屋市東山動植物園

親子どうぶつ講座は今年も多数の応募があり、定員に達することができました。



プラネタライブ「奏楽～SORA～ 星と奏でるハロウィンコンサート」

日時	10/21(土) 14:00～15:00
対象	子ども～おとな
会場	大垣市スイトピアセンター コスモドーム
主催	大垣市文化事業団

ハロウィンコンサートということで、演奏者、お客様、職員と仮装して雰囲気を楽しみ、満天の星空を眺めながら音楽を楽しむことができました。赤ちゃんからシニアまでの幅広い年齢層の方々に参加していただきました。



Jr.サイエンス講座（子どものための科学展）

日時	10/21(土)10:00～16:00、10/22(日)10:00～15:00
対象	子ども
会場	豊橋市視聴覚教育センター
主催	豊橋技術科学大学（「子どものための科学展」主催：豊橋市教育委員会）

豊橋市教育委員会主催の「子どものための科学展」に、小中学生の科学技術に対する関心を高めることを目的として、本学は「Jr.サイエンス講座」を実施しました。ロボット操作体験、光の実験の2ブースを出展しました。※10/22(日)は台風接近のため中止



科学・ものづくりフェスタ@愛教大

日時	11/11(土)10:00～16:00
対象	子ども～おとな
会場	愛知教育大学 第一共通棟
主催	愛知教育大学 科学・ものづくり教育推進センター

不思議な科学実験や体験や大きなシャボン玉に入ったり、親子でアート作品作り、また、特別企画として、図書館キッズライブラリーにて読み聞かせを行ったり、キッチンカーによる飲食販売なども行われ、親子で楽しい一日を過ごしました。



マイコンプログラミング教室

日時	11/11(土)①13:00~14:00、②14:30~15:30
対象	小学3年生以上
講師	名古屋大学情報学研究科 安田・遠藤研究室
会場	蒲郡市生命の海科学館
主催	蒲郡市生命の海科学館

手軽にモノづくりができる子供向けプログラミング教室。マイコン（Arduino）を使って、LEDを光らせたり、ブザーでメロディーを鳴らしたりしました。



特別展「恐竜の卵～恐竜誕生に秘められた謎～」

日時	11/11(土)～2018年2月25日(日) 9:30～17:00
対象	子ども～おとな
会場	名古屋市科学館 理工館 イベントホール
主催	読売新聞社、中京テレビ放送、福井放送、名古屋市科学館

読売新聞社・中京テレビ放送と共催し、最新の研究に用いられた恐竜の卵化石を紹介しました。また、紹介した卵を産んだ恐竜の全身復元骨格なども展示しました。



秋の工房アラカルト

日時	11/18(土)～12/3(日)の土日祝 10:00～16:00
対象	子ども～おとな
会場	サイエンスワールド
主催	サイエンスワールド

外部講師による日替わりで出展内容の変わる企画です。講師の趣向を凝らした内容に、参加者は真剣に聞き入っていました。



4-6. まだまだいっぱい

まだまだいっぱい紹介します。

4-6-1. 会期が3日間以下のイベント

休日パテントセミナー2017in 豊橋「知的財産契約の基礎知識～秘密保持、共同研究、共同出願、ライセンス～」

日時	9/16(土) 14:00～16:30
対象	知的財産に関心のある方
会場	豊橋商工会議所
主催	愛知県、日本弁理士会東海支部、豊橋市、豊橋商工会議所、株式会社サイエンス・クリエイト

知的財産に対する理解の増進と人材育成を目的に、弁理士による実例を交えた初心者向け知的財産セミナーを、日本弁理士会東海支部、豊橋市、豊橋商工会議所、株式会社サイエンス・クリエイトと共催で開催しました。



川上紳一先生の『恐竜教室』！ ～モササウルス編～

日時	9/18(祝)①11:00～12:00、②14:00～15:00
対象	小学5年～中学生
講師	川上紳一(岐阜聖徳学園大学教授)
会場	蒲郡市生命の海科学館 実験工作室ほか
主催	蒲郡市生命の海科学館

大型爬虫類モササウルスの化石を観察しながら、大きさを推定するなどして、姿や生態について考察しました。



第3回知的財産経営サロン～ライバル会社の知財、気になりますか？～

日時	9/21(木) 17:00～19:00
対象	中小企業の経営者など
講師	日本弁理士会東海支部所属弁理士
会場	日本弁理士会東海支部
主催	愛知県、日本弁理士会東海支部

知的財産を産業競争力の源泉と位置付け、経営戦略に組み込む「知財経営」の推進を図るため、中小企業の経営者等を対象とした「知的財産経営サロン」を日本弁理士会東海支部と共催で開催しました。



ぶらぶら♪蒲郡ジオツアー in 竹島

日時	9/23(土) 13:00～14:30
対象	どなたでも
講師	山中敦子(蒲郡市生命の海科学館館長)
会場	蒲郡市生命の海科学館および竹島
主催	蒲郡市生命の海科学館



惑星地球の活動をものがたる断層や岩脈をみながら、館長と参加者で竹島を散策しました。

スズメバチの巣を解体してみよう①

日時	9/23(土) 14:30～15:00
対象	どなたでも
講師	長谷川道明(豊橋市自然史博物館学芸専門員)
会場	豊橋市自然史博物館
主催	豊橋市自然史博物館



スズメバチの巣を解体して、スズメバチの生態や巣の構造を学びました。

ママのための食育講座～もっと教えて!! 子どもの食事と調理アイデア～「忙しい時のパッキング」

日時	9/28(木) 10:30～12:00
対象	どなたでも(子連れOK)
講師	近藤みゆき(名古屋文理大学短期大学部准教授)
会場	イオンタウン名西 まちコミホール
主催	名古屋文理大学短期大学部



子育て世代は子どもの世話などで時間に追われる方が多いため、パッキングの歴史やメリット、真空調理の紹介、時短のための工夫として家庭でも簡単にできる電気ポットを利用した様々な調理法を解説しました。

農芸化学会サイエンスカフェ in 名古屋 健康のための栄養と運動

日時	9/28(木) 18:00～19:30
対象	高校生以上
講師	下村吉治(名古屋大学大学院生命農学研究科教授)
会場	名古屋市科学館 キーズカフェ
主催	公益社団法人日本農芸化学会、名古屋市科学館

日本農芸化学会と共催して、下村吉治教授(名古屋大学大学院 生命農学研究科 応用分子生命科学専攻)から、筋肉づくりのためのタンパク質・アミノ酸の役割や、運動の重要性などを紹介していただきました。



DNA 抽出実験

日時	9/30(土)①11:00~12:00、②14:00~15:00
対象	どなたでも
講師	白瀧千夏子(蒲郡市生命の海科学館)
会場	蒲郡市生命の海科学館
主催	蒲郡市生命の海科学館

バナナをつぶし、食塩と台所用洗剤とエタノールを使って、DNAを取り出しました。DNA が簡単に取り出せることに驚く参加者も多くいました。



名古屋市立大学 市民公開講座

日時	9/30(土)、10/14(土)、10/21(土)、11/3(祝)、 11/5(日)、11/18(土)、11/25(土)
対象	どなたでも
会場	名古屋市立大学
主催	名古屋市立大学

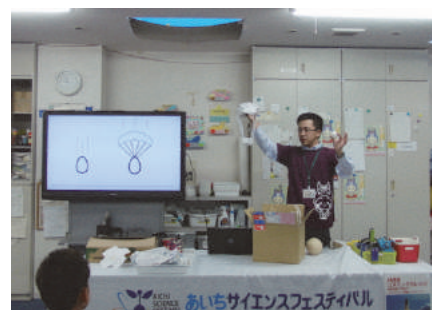
あいちサイエンスフェスティバル期間中、第1～8回までの市民公開講座を開催しました。6学部7研究科を持つ本学ならではのバラエティに富んだ講義が揃い、多くの方々にご参加いただきました。



JAXA コズミック・カレッジ ～ファンダメンタルコース～

日時	10/1(日)①10:30~12:00、②14:00~15:30
対象	小学3年~中学生
講師	佐藤雅浩(JAXA 宇宙リーダー、日本宇宙少年団あいち・なごや分団長)
会場	蒲郡市生命の海科学館
主催	JAXA 宇宙教育センター、蒲郡市生命の海科学館
協力	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 JAXA

紙一枚を使い、卵を無傷で着陸させる“着陸艇”づくりを行いました。実際に高所から鶏卵を乗せた着陸艇を落下させ、検証しました。



名古屋大学出前授業 in 豊橋 2017 「尿を使ったがん診断」

日時	10/1(日) 13:30~15:00
対象	小学3年生~一般
講師	安井隆雄(名古屋大学大学院工学研究科助教)
会場	豊橋市視聴覚教育センター
主催	豊橋市、豊橋市教育委員会、名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

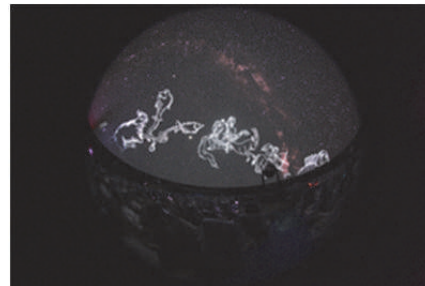
細胞同士のコミュニケーションツールとなる物質を尿から取り出す事で、従来よりも早く・簡単に検査できる方法を講演して頂きました。子どもだけでなく大人も、例え話やクイズで楽しく先端研究にふれるきっかけとなりました。



夜間投影「お月見の夜」

日時	10/4(水) 18:30~19:45
対象	高校生以上
会場	名古屋市科学館 プラネタリウム
主催	名古屋市科学館

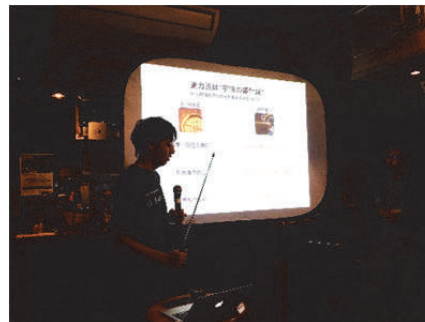
今回の夜間投影は、一般投影とは別に設定したテーマを深く解説しました。今年の中秋の名月は10月4日。お月見の楽しみ方やどうして毎年日付が異なるのか、さらにならざるも満月でない理由など、月にまつわる話題を解説しました。



第7回「KagaQ トークライブ」「重力波がひらく新・深・真宇宙」

日時	10/4(水) 18:40~20:00
対象	一般
会場	文化系飲食店「ボクモ」
講師	新居舜(名古屋大学大学院)
主催	KagaQ

名古屋大学大学院宇宙論研究室の新居舜さんに、前日発表されたノーベル物理学賞を受賞した重力波の観測について、そのやさしい解説と、これからの天文学に与えるインパクトについて、興味深いお話をいただきました。



薬用植物園市民公開

日時	10/6(金)・7(土) 10:00~12:00
対象	どなたでも
会場	名古屋市立大学田辺通キャンパス薬用植物園、他
主催	名古屋市立大学薬学部

名古屋市立大学薬学部では、10月6日、7日に薬用植物園市民公開講座を開催しました。薬草に関する講演後、教員・学生による解説とともに、植物園内を見学いただき、終始笑顔の絶えない見学会となりました。



アサギマダラのマーキング調査

日時	10/8(日) 9:30~11:00
対象	一般
講師	近藤記巳子(自然観察指導員)
会場	名古屋市東山動植物園 合掌造りの家前集合
主催	名古屋市東山動植物園

渡りをするチョウ「アサギマダラ」のマーキング調査をして、その生態について学んでいただきました。



スズメバチの巣を解体してみよう②

日時	10/8(日) 14:30~15:00
対象	どなたでも
講師	長谷川道明(豊橋市自然史博物館学芸専門員)
会場	豊橋市自然史博物館
主催	豊橋市自然史博物館

スズメバチの巣を解体して、スズメバチの生態や巣の構造を学びました。



えほん meets 博物館 『せいめいのれきし(改訂版)』

日時	10/15(日)①11:00~12:00、②14:00~15:30
対象	①未就学児と保護者、未就学児世代の教育関係者、 ②小学生以上の子どもと保護者
会場	蒲郡市生命の海科学館 3階展示室ほか
主催	蒲郡市生命の海科学館
共催	国立科学博物館
協力	株式会社岩波書店

絵本の一部を用いて特別に作成された、本イベント専用のミッションシートを持って、館長と来場者が一緒に科学館を探検しました。化石の手触りを確かめたりしながら、絵本の世界を生命の海科学館で楽しみました。



名古屋大学出前授業 in 豊橋 2017「重力波でみる宇宙～ブラックホールから宇宙の始まりまで～」

日時	10/15(日) 13:30～15:00
対象	小学3年生～一般
講師	黒柳幸子(名古屋大学大学院理学研究科特任助教)
会場	豊橋市視聴覚教育センター
主催	豊橋市、豊橋市教育委員会、名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部



LIGOにより証明されたブラックホールの「重力波」。宇宙の始まりに何があったか等をご講演頂きました。重力波チームのノーベル物理学賞受賞も影響し、多くの市民が楽しみました。

総合生命理学部(仮称)設置認可記念シンポジウム「未来を拓くサイエンス」

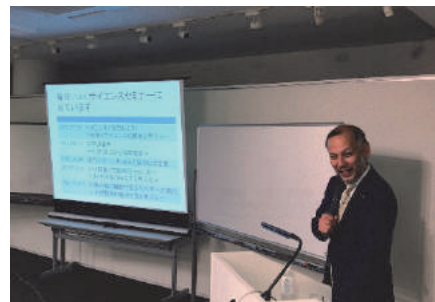
日時	10/15(日) 13:30～
対象	高校生以上
会場	名古屋市立大学病院 病棟・中央診療棟3階大ホール
主催	名古屋市立大学



総合生命理学部新設を記念し、シンポジウムを開催しました。基調講演では、最新の研究成果の紹介、パネルディスカッションでは高校生から課題研究についての相談があるなど活発な議論が行われました。

水素水商品騒動で見た科学への期待～科学技術の伝わり方を考える～

日時	10/18(水) 18:00～19:30
対象	一般
講師	藤吉隆雄(北海道大学大学院理学研究院特任准教授)
会場	三井住友銀行 SMBC パーク 栄
主催	三井住友銀行 SMBC パーク 栄



昨年後半から今年はじめにかけて、一部の水素水商品に対して(独)国民生活センターが製品テスト結果を公表したり、メディア上で科学者がコメント応酬するなど、騒動と呼べるような現象がありました。水素の効果という科学論文を根拠とした商品で、この現象が生じたのはなぜでしょう? 科学技術情報の伝わり方を考えました。

第4回知的財産経営サロン～知財に関するお困りごと、話してみませんか？～

日時	10/19(木) 17:00～19:00
対象	中小企業の経営者など
講師	日本弁理士会東海支部所属弁理士
会場	日本弁理士会東海支部
主催	愛知県、日本弁理士会東海支部

知的財産を産業競争力の源泉と位置付け、経営戦略に組み込む「知財経営」の推進を図るため、中小企業の経営者等を対象とした「知的財産経営サロン」を日本弁理士会東海支部と共催で開催しました。



ノーベル賞緊急講演会「重力波とは何か？～アインシュタイン最後の「宿題」～」

日時	10/19(木) 17:30～19:30
対象	学生、一般
講師	白水徹也(名古屋大学)、西澤篤志(名古屋大学)
会場	名古屋大学理学南館 坂田・平田ホール
主催	名古屋大学素粒子宇宙起源研究機構

講演ではアインシュタインの一般相対性理論の入門的なところから、2017年ノーベル物理学賞の受賞理由となった重力波の実験及び理論について紹介しました。講演には170人以上の方が来場し、熱心に講演を聴いていました。



科学と社会のつなぎ方

日時	10/20(金) 13:30～15:00
対象	一般
講師	金森晶作(はこだて未来大学特別研究員)
会場	三井住友銀行 SMBC パーク 栄
主催	三井住友銀行 SMBC パーク 栄
協力	KagaQ

北海道函館地域で開催されるサイエンスフェスティバル「はこだて国際科学祭」の事例を元に、その意義や効果についてお話ししていただきました。科学をまちに出して何が起こったのか、イベントの持つ力について参加者と考えました。



第 125 回サイエンスカフェ in 名古屋「放射線被爆による健康リスクを考える～福島原発事故から 6 年～」

日時	10/20(金) 18:00～20:00
対象	どなたでも
講師	大沼淳一(原子力市民委員、元・愛知県環境調査センター主任研究員)
会場	7th Cafe
主催	名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科



今回のサイエンスカフェでは、福島原発事故をクローズアップし、近代科学技術の巨大化に伴って増加した「因果律」の明確でない毒物による被害者を救済する道はあるのか、参加者の皆さんと共に考えました。

海と日本プロジェクト 海・みなと・蒲郡 ぶらぶら♪蒲郡 海めぐりジオツアー2017

日時	10/21(土) 10:00～15:30
対象	小学生以上
会場	蒲郡市生命の海科学館、西浦半島
主催	海・みなと・蒲郡 実行委員会
共催	蒲郡市教育委員会生涯学習課、生命の海科学館



あいにくの雨で、予定を一部変更して実施されました。西浦半島の海辺をめぐり、蒲郡の海と大地について学びました。

特別講演会「古代アンデスにおける農耕と社会変化」

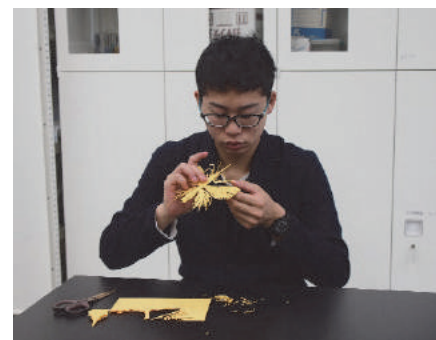
日時	10/21 (土) 13:30～15:30
対象	一般
講師	渡部森哉(南山大学人文学部教授)
会場	名古屋大学博物館 講義室
主催	名古屋大学博物館



南山大学の渡部森哉教授をお招きし、古代アンデスの考古学調査から明らかになった人類史における植物との関わりについてお話いただきました。

切り紙実演

日時	10/21(土) 14:30～15:30
対象	一般
講師	石川進一郎(3D 切り紙師)
会場	名古屋大学博物館 講義室
主催	名古屋大学博物館



高校一年生の石川が、紙とハサミー丁で制作する細密な昆虫 3D 切り紙。参加者は、その巧みな技に驚き、すっかり石川進一郎の世界に魅了されました。

サイエンスアゴラなごや 2017「科学祭について考えてみよう！」～科学祭連携で広がる魅力～

日時	10/21(土) 16:30～20:00
対象	中学生以上
講師	金森晶作(公立はこだて未来大学特別研究員) 藤吉隆雄(北海道大学大学院特任准教授)
会場	文化系飲食店「ボクモ」
主催	KagaQ



はこだて国際科学祭コーディネーターの金森晶作さん、元あいちサイエンスフェスティバル初代事務局の藤吉隆雄さんに、それぞれ科学祭を立ち上げたときの裏話を楽しく伺い、科学祭間の連携についてトークしました。

第3回 病院の機械を操作してみよう！ ～いのちのエンジニア体験～

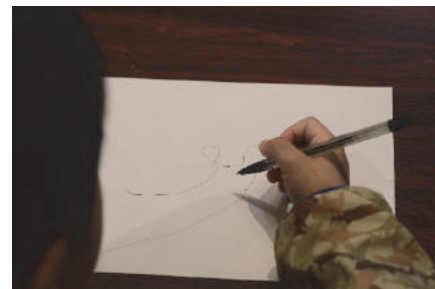
日時	10/21(土)9:30～17:00、22(日)9:30～16:00
対象	どなたでも
会場	名古屋市科学館 理工館 イベントホール
主催	一般社団法人愛知県臨床工学技士会、名古屋市科学館



(一社) 愛知県臨床工学技士会と共催して、「いのちのエンジニア体験」として4つのブースで医療機器の展示と操作の体験を行いました。その他にも多数のプログラムを行い、来場者には楽しんで見学・参加していただきました。

シロアリをあやつろう

日時	10/21(土)・22(日) 14:30～15:00
対象	どなたでも
講師	長谷川道明(豊橋市自然史博物館学芸専門員)
会場	豊橋市自然史博物館
主催	豊橋市自然史博物館



シロアリの道しるべフェロモンの実験を行い、昆虫の行動と化学物質の関係について学びました。

昼間の星をみる会

日時	10/22(日) 10:30～14:30
対象	どなたでも
会場	名古屋市科学館 理工館 天文台
主催	名古屋市科学館



望遠鏡を使うと昼間に星が見られます。理工館屋上天文台の80cm 望遠鏡を使って青空の中の星をご覧ください。入館者対象です。

化学反応を使った昔の写真に挑戦

日時	10/22(日) 14:00~15:30
対象	子どもと保護者
講師	藤吉隆雄(北海道大学大学院理学研究院特任准教授)
会場	蒲郡市生命の海科学館 実験工作室
主催	蒲郡市生命の海科学館



牛乳パックを用いてピンホールカメラを作成した後、自作のカメラで写真の撮影を行いました。そして、薬品をつかって写真の現像を体験しました。みんな非常に熱心に取り組んでいました。

**ママのための食育講座～もっと教えて！！子どもの食事と調理アイデア～
「ポリ袋でクッキング～簡単、時短、省エネで、災害時にも役立つ～」**

日時	10/25(水) 13:00~14:30
対象	どなたでも(子連れ OK)
講師	日比野久美子(名古屋文理大学短期大学部教授)
会場	イオンタウン名西 まちコミホール
主催	名古屋文理大学短期大学部



ポリ袋を活用した調理、パッククッキング、ひと鍋クッキングなど、様々な提案をし、災害時において手軽にできるポリ袋調理のメリットや食の備えのポイント等についても解説。実際に「白いご飯」「おかゆ」「炊き込みご飯」「野菜ピラフ」「焼き鳥と里芋の煮物」「ひじきの煮物」を参加者に試食していただきました。

化学は地味だが役に立つ 化学マジックショーで世界を変えてゆけ

日時	10/28(土)①11:00~12:00、②14:10~15:10
対象	どなたでも
講師	ドクター・マジックとそのなかまたち(愛知教育大学 戸谷義明教授 & 指導学生)
会場	蒲郡市生命の海科学館
主催	蒲郡市生命の海科学館



大学で化学を学ぶ学生の皆さんによる化学マジックショー！盛り上がりました。

バイオカフェ in 愛知県図書館 第一部

「愛知県農総試における野菜の品種育成～個性あふれる愛知生まれの野菜たち」

日時	10/28(土) 13:30～15:00
対象	一般
講師	大藪哲也(愛知県農業総合試験場園芸研究部野菜研究室長)
会場	愛知県図書館 中会議室
主催	愛知県図書館、NPO 法人くらしとバイオプラザ 21



愛知県農業総合試験場の大藪哲也さんによる「愛知県農総試における野菜の品種育成」についてでした。難しくなりがちなテーマを分かりやすく、お話いただきました。お話の途中でも会場から質問が活発に出たり、笑いが起きたりと、とても楽しいバイオカフェとなりました。

バイオカフェ in 愛知県図書館 第二部

「ゲノムデザインでエネルギー作物を作る～育種にイノベーションを起こした DNA 情報」

日時	10/28(土) 15:30～17:00
対象	一般
講師	佐塚隆志(名古屋大学生物機能開発利用センター准教授)
会場	愛知県図書館 中会議室
主催	愛知県図書館、NPO 法人くらしとバイオプラザ 21



名古屋大学生物機能開発利用研究センター准教授佐塚隆志さんによる「ゲノムデザインでエネルギー作物をつくる」についてでした。ゲノムデザインというテーマを、具体的な例を挙げながら分かりやすくお話いただきました。会場からかなり専門的な質問も飛び出すなど、充実したバイオカフェとなりました。

市民観望会「月と二重星をみる会」

日時	10/28(土) 18:15～20:30
対象	どなたでも
会場	名古屋市科学館 理工館 天文台
主催	名古屋市科学館

プラネタリウムでその日に見る天体についての解説を聞いた後、理工館屋上天文台の 80cm 望遠鏡や、星のひろばに並べた望遠鏡を使って、天体を観望します。月齢 8.7 の上弦の月とはくちょう座の二重星アルビレオを楽しんでいただきました。



いつまで回る？！永久ゴマ

日時	10/28(土)・29(日)①10:00～11:30、②13:30～15:00
対象	小学生以上
会場・主催	サイエンスワールド

磁力で電源の入り切りができる「リードスイッチ」と「片面2極リング磁石」を使った電池が切れるまで回り続ける「永久ゴマ」を作って、原理に触れてもらうことを目的としました。



かがくゼミナール「くすりのなかみを見てみようー薬との上手な付き合い方パート 14」

日時	10/29(日) 10:00～12:00
対象	小学3年～中学生と保護者
会場	名古屋市科学館
主催	名古屋市科学館

長谷川摂子さんほか名古屋市薬剤師会の会員を講師に、実際のくすりを使った実験で、からだの中でのくすりの変化や、くすりの飲み方の工夫などを学びました。



博士が教える科学教室～科学の不思議を体験しよう～「138億光年宇宙の旅ーつながっている宇宙・社会・いのち」

日時	10/29(日)16:00～17:30(天文教室 18:00～19:00)
対象	小学生～一般
会場	大垣市サイトピアセンター コスモドーム
主催	大垣市文化事業団

地球において、生命体が存在した起源はいつなのだろうか？どこからやってきたのだろうか等様々な探究や理論をもとに科学的に解説され、年齢層が幅広い参加者にもかかわらず、とても分かり易い講演でした。



ジオツアー「きえゆくジオサイトをめぐる」

日時	11/5(日) 8:45～16:30
対象	小学4年生以上
講師	松岡敬二(豊橋市自然史博物館館長)
会場	設楽町ほか(豊橋市自然史博物館集合)
主催	豊橋市自然史博物館

豊川水系の河川地形や地質を観察しながら、大地の成り立ちについて学びました。



コズミックカレッジ 2017 名古屋会場

日時	11/5(日)①10:30~12:30、②14:30~16:30
対象	小学3年~6年生と保護者
会場	名古屋市科学館 生命館 サイエンスホール
主催	ディスカバリー・ジャパン、JAXA

親子で楽しめる宇宙科学イベントです。ディスカバリーチャンネルのハイクオリティな映像とJAXAのホンモノ実験教室、NHK「コズミックフロント」の高精細な映像、さらに名古屋市科学館の実物展示により宇宙への学びを深めました。



昼間の星をみる会

日時	11/5(日) 11:30~15:30
対象	どなたでも
会場	名古屋市科学館 理工館 天文台
主催	名古屋市科学館

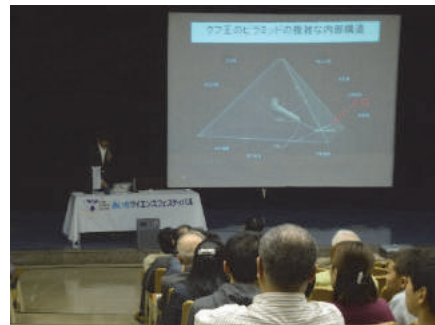
望遠鏡を使うと昼間に星が見られます。理工館屋上天文台の80cm望遠鏡を使って青空の中の星をご覧くださいました。入館者対象です。



名古屋大学出前授業 in 豊橋 2017「宇宙線で挑むピラミッドの謎」

日時	11/5(日) 13:30~15:00
対象	小学3年生~一般
講師	森島邦博(名古屋大学未来材料・システム研究所 特任助教)
会場	豊橋市視聴覚教育センター
主催	豊橋市、豊橋市教育委員会、名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

宇宙から飛んでくる宇宙線を使って、レントゲンの様にピラミッドを透視するプロジェクト「スキャンピラミッド」。講演日直前にテレビ・新聞で報道された、新発見の内部未知空間などについてお話して頂きました。



光の化学実験ショー

日時	11/5(日) 14:00~15:00
対象	どなたでも
講師	廣木一亮(津山工業高等専門学校准教授)
会場・主催	蒲郡市生命の海科学館

蛍光物質フルオレセインの合成実験などを通して、会場が一体となって化学を楽しみました。



一般公開講座「未来ビークルシティ実現への技術展望」第 1 回「ワイヤレス技術でビークルを軽量化」

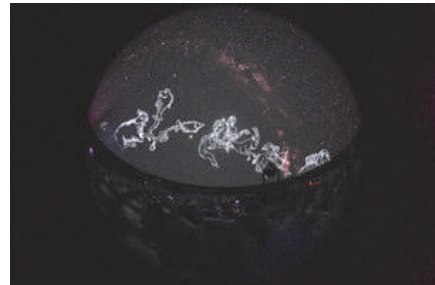
日時	11/10(金) 18:30~20:00
対象	高校生以上
講師	田村昌也(豊橋技術科学大学准教授)
会場	豊橋技術科学大学
主催	豊橋技術科学大学



ワイヤハーネスによる重量増加の解決策として期待されているワイヤレス電力情報伝送技術について講義しました。講師は電気・電子情報工学系の田村昌也准教授でした。

夜間投影「アンドロメダ銀河」

日時	11/10(金) 18:30~
対象	高校生以上
会場	名古屋市科学館
主催	名古屋市科学館



今回の夜間投影は一般投影「アンドロメダ銀河」をベースとし、時間を 25 分長くして、内容をじっくり深く解説するプログラムでした。一般投影では解説しきれない、ハッブル宇宙望遠鏡の観測成果やシミュレーションのなりたちなどまで、深く解説しました。

収蔵庫見学会「貝類標本」(解説会)

日時	11/11(土) 13:30~14:00
対象	どなたでも
講師	西浩孝(豊橋市自然史博物館学芸員)
会場	豊橋市自然史博物館
主催	豊橋市自然史博物館



貝類標本を中心に自然史博物館の収蔵庫の収蔵標本を見学しました。

名古屋大学出前授業 in 豊橋 2017「オーストラリアの荒野によみがえる原始生命」

日時	11/12(日) 14:00~15:30
対象	小学 3 年生~一般
講師	杉谷健一郎(名古屋大学大学院環境学研究科教授)
会場	豊橋市自然史博物館
主催	豊橋市、豊橋市教育委員会、名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部



これまでの生物進化の通説を覆しかねないオーストラリアで発見された 30 億年前と 34 億年前の微化石について、その発見秘話を交えて紹介していただきました。

豊田佐吉生誕 150 周年 特別展記念講演会「佐吉の生きた時代とその夢」

日時	11/12(日) 14:00~16:00
対象	一般
講師	鈴木一義(国立科学博物館 産業技術史資料情報センター センター長)
会場	トヨタ産業技術記念館
主催	トヨタ産業技術記念館

国立科学博物館の鈴木一義氏による講演で、日本が明治時代以降、「奇跡」とも言える発展ができた理由について、「人と自然を大切にしたモノづくり」がその要因の1つになっていることをわかりやすく解説し、たいへん好評でした。



あいちサイエンスフェスティバル 2017 クロージングパーティー「アフタートークテーブルズ」

日時	11/15(水) 20:15~22:15
対象	高校生・一般
会場	文化系飲食店「ボクモ」
主催	KagaQ

フェスティバルのクロージングパーティーを開催しました。ゲスト、事務局、スタッフ参加者、そしてよく参加されたお客様も交えて、美味しいお酒やお食事と共に、夜が更けるまでサイエンスの時間を楽しみました。



第4回知的財産経営サロン 自社の宝探し ～社内の知的財産を発掘せよ～

日時	11/16(木) 17:00~19:00
対象	中小企業の経営者など
講師	日本弁理士会東海支部所属弁理士
会場	日本弁理士会東海支部
主催	愛知県、日本弁理士会東海支部

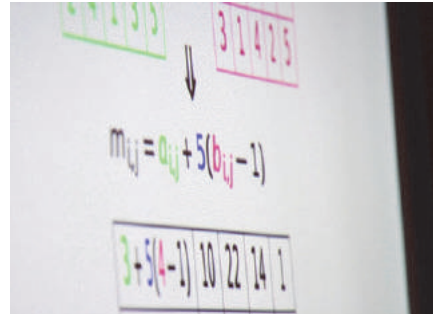
知的財産を産業競争力の源泉と位置付け、経営戦略に組み込む「知財経営」の推進を図るため、中小企業の経営者等を対象とした「知的財産経営サロン」を日本弁理士会東海支部と共催で開催しました。



第 126 回サイエンスカフェ in 名古屋「加法と乗法が織りなす数の世界」

日時	11/17(金) 18:00~20:00
対象	どなたでも
講師	河田成人教授(名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科教授)
会場	7th Cafe
主催	名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科

今回のサイエンスカフェでは、代数学の理論の一端を紹介させていただくとともに、普段は見慣れない加法と乗法の世界についてお話ししました。



一般公開講座「未来ビークルシティ実現への技術展望」

第 2 回「地域交通の今と未来を考える～人口減少・情報化時代の交通マネジメント」

日時	11/17(金) 18:30~20:00
対象	高校生以上
講師	松尾幸二郎(豊橋技術科学大学助教)
会場	豊橋技術科学大学
主催	豊橋技術科学大学

地域交通に関する近年の取り組みについて紹介し、未来の自動運転時代の地域交通について講義しました。講師は建築・都市システム学系の松尾幸二郎助教でした。



昼間の星をみる会

日時	11/19(日) 11:30~15:30
対象	どなたでも
会場	名古屋市科学館 理工館 天文台
主催	名古屋市科学館

望遠鏡を使うと昼間に星が見られます。理工館屋上天文台の80cm 望遠鏡を使って青空の中の星をご覧いただきました。入館者対象です。



名古屋大学出前授業 in 豊橋 2017「球状コンクリーションの不思議 – 化石保存のメカニズム –」

日時	11/19(日) 14:00~15:30
対象	小学3年生~一般
講師	吉田英一(名古屋大学博物館資料基盤研究系教授)
会場	豊橋市自然史博物館
主催	豊橋市自然史博物館



球状コンクリーションとは、地層の中に炭酸カルシウムでできた丸く硬い岩石のことで、古くからその存在は知られていましたが、その成因はよくわかっていませんでした。火星でも見つかった球状コンクリーションの最新研究を紹介していただきました。

**ママのための食育講座~もっと教えて!! 子どもの食事と調理アイデア~
「嫌いなもの、無理にたべさせる!？」**

日時	11/22(水) 10:30~12:00
対象	どなたでも(子連れOK)
講師	上田洋子(名古屋文理大学短期大学部助教)
会場	イオンタウン名西 まちコミホール
主催	名古屋文理大学短期大学部



「人間の体は全て自分の食べた物から構成されている」ことを参加者に理解して頂いた上で五大栄養素の働きを栄養素ごとに説明しました。「好き嫌いは当たり前である」という考えを持ち、嫌いなものを無理に食べさせるのではなく、食べられるように手をかけたり、代替品でバランスを摂ることが重要であると解説しました。

顕微鏡でのぞく植物の世界

日時	11/23(祝) 13:30~14:30
対象	一般
会場	名古屋市東山動植物園 植物会館研修室
主催	名古屋市東山動植物園



「植物の『毛』」をテーマに、実体顕微鏡でいろいろな植物を観察していただきました。

一般公開講座「未来ビークルシティ実現への技術展望」 第3回「画像処理技術の安全・安心への応用」

日時	11/24(金) 18:30~20:00
対象	高校生以上
講師	金澤靖(豊橋技術科学大学准教授)
会場	豊橋技術科学大学
主催	豊橋技術科学大学

身近に使われている画像処理技術の安全・安心への応用について講義しました。講師は情報・知能工学系の金澤靖准教授でした。



4-6-2. 会期が4日間以上のイベント

ミニ企画展「イデンシって、なあと？～進化の秘密から光るワンピースまで～」

日時	6/3(土)~11/5(日) 9:00~17:00
対象	一般
会場	蒲郡市生命の海科学館
主催	蒲郡市生命の海科学館

DNA やタンパク質の模型の展示が、目には見えない生物の仕組みがあることを伝えてくれました。遺伝子組換え技術を用いて作成された光るワンピースに来場者は興味津々でした。



特別展『せいめいのれきし』46億年、あなたにつながるストーリー

日時	7/15(土)~11/5(日) 9:00~17:00
対象	一般
会場	蒲郡市生命の海科学館
主催	蒲郡市生命の海科学館

絵本をモチーフに、地球誕生からの生物の移り変わりの歴史を、貴重な化石等を用いて展示しました。中でも恐竜の骨格標本や猿人の頭骨の展示は、来場者に大好評でした。



名古屋大学博物館野外観察園サテライト展示「野外観察園のボタニカルアートⅠ 夏と秋の植物」

日時	7/18(火)～11/10(金) 10:00～16:00
対象	一般
会場	名古屋大学博物館野外観察園
主催	名古屋大学博物館

博物館野外観察園で夏から秋に見られる植物 35 種をボタニカルアートで描き、解説を添えて展示しました。



第 35 回企画展「ムシの世界」

日時	7/25(火)～10/21(土) 10:00～16:00
対象	一般
会場	名古屋大学博物館野外観察園
主催	名古屋大学博物館野外観察園

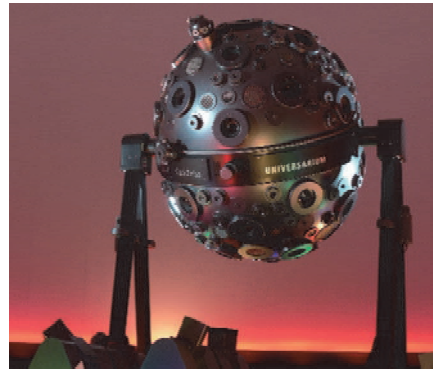
大人も子供も楽しめることに重点おいて企画しましたが、博物館には珍しく親子連れの来場者が多く、切り紙や博物画、標本などを十分楽しんでいました。



プラネタリウム 10 月一般投影「夕焼けの科学」

日時	10/1(日)～10/31(水)
対象	どなたでも
会場	名古屋市科学館 プラネタリウム
主催	名古屋市科学館

赤い夕日が地平線に沈んでいき、やがて夕焼けが西の空を赤く染め上げます。沈んでいく太陽はなぜ赤くなるのか、雲の色が変わるのはなぜかなどを、夕焼けのシミュレーションを交えながら解説しました。



アニマルトーク・リレー

日時	10/7(土)～11/19(日)の土日祝 13:30～15:00(開催日によって異なる)
対象	どなたでも
会場	名古屋市東山動植物園
主催	名古屋市東山動植物園

アニマルトーク・リレーはメキシコ関係の動物を中心に企画しましたが、ほとんどが雨天のため中止となってしまいました。



豊田佐吉生誕 150 周年特別企画

特別展「引き継がれる佐吉の志～私たちの暮らし、トヨタグループと～」

日時	10/7(土)～12/10(日) 9:30～17:00
対象	一般
会場	トヨタ産業技術記念館 特設会場
主催	トヨタ産業技術記念館

「国家社会を豊かにし、人々を幸せにする」という豊田佐吉の志がトヨタグループ各社に引き継がれ、各社の製品や取組みが私たちの暮らしのさまざまな場面で活用されている様子を紹介し、理解を深めてもらうことができました。



第 13 回 自然史博物館自由研究展

日時	10/14(土)～11/12(日) 9:00～16:30
対象	どなたでも
会場	豊橋市自然史博物館
会場	豊橋市自然史博物館

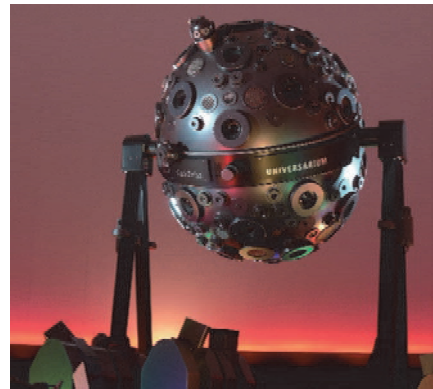
豊橋市内の小中学生が行った生物、地学に関する自由研究の優秀作品 213 点を展示、紹介しました。



プラネタリウム 11 月一般投影「アンドロメダ銀河」

日時	11/1(水)～11/30(木)
対象	どなたでも
会場	名古屋市科学館 プラネタリウム
主催	名古屋市科学館

アンドロメダ銀河は私たちに最も近い渦巻き銀河です。現在は 230 万光年離れていますが、30 億年以上未来には、銀河系と接近遭遇し、やがては一つになると考えられます。恒星やガス、ダークマター、そして星生成や超新星爆発までも考慮したシミュレーションで解説しました。



企画展 丸山崇写真展「ホンドテン」

日時	11/18(土)～12/10(日) 9:00～16:30
対象	どなたでも
会場・主催	豊橋市自然史博物館

長野県松本市在住の写真家丸山隆さんが 2011 年から 5 年間かけて安曇野で撮影、記録した貴重な写真からホンドテンの生態を紹介しました。



5. 謝辞

7年目のあいちサイエンスフェスティバルが終わりました。

あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークの各機関の日々の取り組みに敬意を表すとともに、フェスティバルにご協力いただきましたことに、深く感謝を申し上げます。

今年の夏休みあいちサイエンスフェスティバルでは、実行委員の皆様の意見を取り入れ、Webへ誘導するフライヤーを大規模に配布してみたところ、Webの閲覧数が大幅に向上しました。

秋には、アイドルとのコラボレーションを試み、科学やものづくりへの関心が薄い層へのアプローチを図りました。

これからも、新しい取り組みを試みながら、この地域に科学とものづくりを楽しむ文化を育んでいきたいと思えます。今後とも、皆様のご協力・ご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部
あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク事務局一同

あいちサイエンスフェスティバル 2017 実施報告書

発行年月： 2018年1月

発行・編集： 名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 地域連携・情報発信グループ
主任リサーチ・アドミニストレーター
成玖美

お問い合わせ先：

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 NIC311

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 地域連携・情報発信グループ

あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク事務局

e-mail asf@aip.nagoya-u.ac.jp

URL <https://aichi-science.jp> (あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークHP)

<http://www.aip.nagoya-u.ac.jp> (名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部HP)

TEL 052-747-6527 FAX 052-747-6796

あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク参加機関

 名古屋大学	 愛知県	 国立大学法人 豊橋技術科学大学	 名古屋市立大学
 名古屋市科学館 NAGOYA CITY SCIENCE MUSEUM	 東山動植物園 Higashiyama ZOO & BOTANICAL GARDENS	 蒲安市 生命の海科学館	 豊橋市自然史博物館
 日本モンキーセンター	 トヨタ産業技術記念館	 JAXA 名古屋空港飛行研究拠点	 大学共同利用機関法人 基礎生物学研究所
 AUT 愛知工科大学	 NAGOYA BUNRI 名古屋文理大学 NAGOYA BUNRI UNIVERSITY	 三井住友銀行 SMBCパーク 栄	 愛知こどもの国
 名古屋市博物館中央図書館 758	 MieMu 三重県総合博物館	 ogaki city cultural foundation 公益財団法人 大垣市文化事業団	 国立大学法人 名古屋工業大学
 中部大学	 公益財団法人 科学技術交流財団 Aichi Science & Technology Foundation	 国立大学法人 愛知教育大学	 名古屋市港防災センター
 愛知学長懇話会	 愛知学長懇話会	 NAGOYA BUNRI 名古屋文理大学短期大学部 SCHOOL OF SHORTER BUNRI UNIVERSITY	

(2018年1月現在)